

平成29年8月

教育委員会定例会議案等

新潟市教育委員会

平成29年8月教育委員会定例会議事日程

新潟市教育委員会

日 時	平成29年8月28日(月) 午後3時30分 開会
場 所	新潟市役所白山浦庁舎6号棟2階 教育会議室1
日 程	<p>第1 会議録署名委員の指名</p> <p>第2 付議事件</p> <p>議案第19号 平成29年9月議会定例会の議案について…………… 1</p> <p>議案第20号 教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する 点検・評価の議会報告について…………… 9</p> <p>議案第21号 平成30年度使用新潟市立高等学校用 教科用図書採択について…………… 3 1</p> <p>議案第22号 平成30年度使用新潟市高志中等教育学校後期課程用 教科用図書採択について…………… 4 7</p> <p>第3 報告</p> <p>・平成29年度新潟市奨学生等の選考結果について…………… 1</p> <p>第4 次回日程</p> <p>9月定例会 平成29年 9月28日(木) 午後3時30分</p> <p>10月定例会 平成29年10月27日(金) 午後3時30分</p> <p>第5 閉会</p> <p>第6 協議会</p> <p>・通学区域の変更に関する要望書について…………… 1</p>

付議事件

議案第19号

平成29年9月議会定例会の議案について

平成29年9月議会定例会の議案について市長より意見を求められたため、その意見について議決を求める。

平成29年8月28日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

(1) 新潟市幼稚園条例の一部改正について

1 提案理由

新潟市立中之口幼稚園と新潟市立なかのくち保育園について、保護者や地元の要望を受け、平成30年4月に幼稚園と保育園を統合し、認定こども園（保育所型）へ移行する予定である。

このため、認定こども園への移行にあたり、新潟市幼稚園条例の一部を改正するもの。

2 提案内容

第2条の表から新潟市立中之口幼稚園を削除するもの。（附則第7項のとおり）

3 施行期日

平成30年4月1日に認定こども園へ移行予定であり、移行日を施行日とする。

なかのくち保育園及び中之口幼稚園の 認定こども園への移行について

1 現 状

中之口地域（西蒲区）では、広域合併前からの慣習により、3歳児までは保育園、4歳児になると隣接する幼稚園に就園するという変則的な保育形態にある。

	定員	児童数（H29.4）	
		0～3歳	4・5歳
なかのくち保育園	100名	107名	2名
中之口幼稚園	120名	---	92名

2 移行方針

保育園と幼稚園を統合し、認定こども園（保育所型）に移行する。
施設名称は、「新潟市立中之口こども園」とする。
定員は、200名を予定。

3 今後の予定

平成29年度	施設改修工事（主に幼稚園舎） 認定こども園条例の制定
平成30年度	認定こども園に移行

4 認定こども園移行後の教育・保育時間（案）

中之口こども園	2号・3号 保育時間	平 日 7:30～19:00 土 曜 7:30～18:00
	1号教育時間	平 日 9:00～14:00
	預かり保育	幼稚園型の預かり保育は実施しない ※保育所型の一時預かりで対応

議案第 号

新潟市認定こども園条例の制定について

新潟市認定こども園条例を次のように制定するものとする。

平成29年 月 日提出

新潟市長 篠田 昭

新潟市認定こども園条例

(設置)

第1条 就学前の子どもに関する教育，保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号）第2条第6項に規定する施設として，本市に認定こども園を設置する。

2 認定こども園の名称及び位置は，次の表に掲げるとおりとする。

名称	位置
新潟市立中之口こども園	新潟市西蒲区三ツ門59番地2

(対象とする子ども)

第2条 認定こども園に入園することができる子どもは，次に掲げる子どもとする。

- (1) 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第24条第2項の規定により認定こども園への入園を市長が承諾した子ども
- (2) 満3歳から小学校就学の始期に達するまでの子どもで，認定こども園への入園を市長が承諾した子ども（前号に掲げる子どもを除く。）

(退園の届出)

第3条 保護者が，その子どもを認定こども園から退園させようとする場合は，その退園させようとする日の10日前までに市長にその旨を届け出なければならない。

(休園日)

第4条 認定こども園の休園日は，次に掲げるとおりとする。ただし，市長が特に必要があると認める場合は，臨時にこれを変更することができる。

- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (3) 12月29日から翌年1月3日までの日（前号に掲げる日を除く。）
- （保育料の徴収）

第5条 市長は、入園した子どもの保護者から、地方自治法（昭和22年法律第67号）第225条の規定による使用料（以下「保育料」という。）を徴収する。

2 保育料の額は、次の各号に掲げる場合に応じ、当該各号に定める額とする。

- (1) 子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第27条第1項に規定する特定教育・保育を受けた場合（次号に掲げる場合を除く。） 同条第3項第2号に掲げる額を限度として規則で定める額
- (2) 子ども・子育て支援法第28条第1項第1号に掲げる場合 同条第2項第1号に規定する政令で定める額を限度として規則で定める額

3 同一の月に一の認定こども園において、前項第1号及び第2号に掲げる場合のいずれにも該当するときの当該月の分の保育料の額は、前項第1号に定める額とする。

4 子どもが月の途中において認定こども園に入園し、又は認定こども園から退園した場合の当該入園又は退園の日の属する月の保育料については、日割りにより徴収する。

（保育料の納付期限）

第6条 保育料は、毎月当該月分をその月の末日（12月分にあつては、12月28日）までに納付しなければならない。ただし、前条第4項の規定による保育料は、入園又は退園の日の属する月の翌月の末日（11月分にあつては、12月28日）までに納付しなければならない。

（保育料の免除）

第7条 市長は、保護者が特別な理由により保育料を納付することができないと認める場合は、その保育料の全部又は一部を免除することができる。

（保育料の還付）

第8条 既納の保育料は還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認める場合は、その保育料の全部又は一部を還付することができる。

(その他)

第9条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成30年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(入園等に関する特例)

2 新潟市立中之口こども園への入園に必要な手続その他の行為は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前においても、行うことができる。

3 施行日前に行われる新潟市立なかのくち保育園又は新潟市立中之口幼稚園への施行日以後の入園に必要な手続その他の行為は、新潟市立中之口こども園への入園に必要な手続その他の行為とみなす。

4 施行日の前日において、現に新潟市立なかのくち保育園又は新潟市立中之口幼稚園に在園し、かつ、附則第6項及び第7項の規定による改正がなかったならば施行日において新潟市立なかのくち保育園又は新潟市立中之口幼稚園に在園していたであろう子どもは、施行日において新潟市立中之口こども園に入園したものとみなす。ただし、新潟市立中之口こども園への入園を希望しない者については、この限りでない。

5 この条例の施行の際、現に改正前の新潟市保育所条例(昭和39年新潟市条例第17号)及び新潟市幼稚園条例(昭和39年新潟市条例第31号)の規定により行われた新潟市立なかのくち保育園及び新潟市立中之口幼稚園に係る手続その他の行為は、それぞれこの条例の相当規定により行われた手続その他の行為とみなす。

(新潟市保育所条例の一部改正)

6 新潟市保育所条例の一部を次のように改正する。

別表新潟市立なかのくち保育園の項を削る。

(新潟市幼稚園条例の一部改正)

7 新潟市幼稚園条例の一部を次のように改正する。

第2条の表新潟市立中之口幼稚園の項を削る。

(2) 新潟市大畑少年センター条例の廃止について

1 提案理由

新潟市芸術創造村・国際青少年センターの設置に伴い、新潟市大畑少年センターを廃止するため。

この時期の廃止については、大畑少年センターの受付を停止し、廃止について必要な広報活動を進めるため。

2 提案内容

新潟市大畑少年センターを廃止するもの。

3 施行期日

新潟市芸術創造村・国際青少年センター条例（平成29年新潟市条例第24号）の施行の日から施行する。

議案第 号

新潟市大畑少年センター条例の廃止について

新潟市大畑少年センター条例を廃止する条例を次のように制定するものとする。

平成29年9月 日提出

新潟市長 篠田 昭

新潟市大畑少年センター条例を廃止する条例

新潟市大畑少年センター条例（平成元年新潟市条例第2号）は、廃止する。

附 則

この条例は、新潟市芸術創造村・国際青少年センター条例（平成29年新潟市条例第24号）の施行の日から施行する。

議案第20号

教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価の議会報告について

教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価の議会報告を、次のとおり
したいため議決を求める。

平成29年8月28日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

**教育委員会の事務の管理及び
執行状況に関する点検・評価報告書
(平成28年度対象)**

**平成29年 月
新潟市教育委員会**

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条の規定に基づき平成28年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果をまとめたものです。

— 目次 —

I	教育委員会の活動状況について	
1	教育委員会会議の開催状況	1
2	教育委員会会議以外の活動状況	3
3	平成28年度の主な取組と成果	5
II	新潟市教育ビジョンの施策評価について	
1	平成28年度施策評価一覧	8
2	主な施策・事業の評価状況	9
3	教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応	16

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

I 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会会議の開催状況

○新潟市教育委員会定例会・臨時会

- | | | |
|--------|--------|--|
| 4月定例会 | 議案第1号 | 平成28年5月議会臨時会の議案について |
| | 議案第2号 | 平成29年度使用新潟市立小学校用教科用図書採択に関する基本方針について
平成29年度使用新潟市立中学校用教科用図書採択に関する基本方針について
平成29年度使用新潟市立特別支援学校用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第3号 | 平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第4号 | 平成29年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第5号 | 平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第6号 | 32期新潟市社会教育委員の委嘱について |
| | 議案第7号 | 23期新潟市文化財保護審議会委員の委嘱について |
| 5月定例会 | 議案第8号 | 平成28年6月議会定例会の議案について |
| 6月定例会 | 議案第9号 | 新潟市立学校職員の勤務成績の評定に関する規則の廃止について |
| 7月定例会 | 議案第10号 | 平成29年度使用新潟市立小学校用教科用図書並びに新潟市立中学校用教科用図書の採択について |
| | 議案第11号 | 平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書の採択について |
| | 議案第12号 | 平成29年度使用新潟市立特別支援学校・学級用一般図書の採択について |
| | 議案第13号 | 教育委員会の人事について |
| 8月定例会 | 議案第14号 | 平成28年9月議会定例会の議案について |
| | 議案第15号 | 教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価の議会報告について |
| | 議案第16号 | 平成29年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択について |
| | 議案第17号 | 平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択について |
| 9月定例会 | — | 報告案件のみ |
| 10月定例会 | 議案第18号 | 平成28年11月議会臨時会の議案について |
| | 議案第19号 | 分離新設校の通学区域について |
| | 議案第20号 | 通学区域の一部変更について |
| 11月定例会 | 議案第21号 | 平成28年12月議会定例会の議案について |
| | 議案第22号 | 市立小学校長の人事について |
| 12月臨時会 | — | 報告案件のみ |
| 12月定例会 | 議案第23号 | 新潟市いじめ防止対策等専門委員の委嘱について |
| 1月定例会 | 議案第24号 | 職員の人事措置について |
| 2月定例会 | 議案第25号 | 平成29年2月議会定例会の議案について |
| | 議案第26号 | 市立学校園の校園長の人事について |
| 2月臨時会 | 議案第27号 | 教職員の人事措置について |

3月定例会	議案第28号	新潟市教育長職務代理者の事務を委任する規則の制定について
	議案第29号	新潟市教育委員会職員分限取扱規程の制定について
	議案第30号	新潟市教育職員の勤務時間、休暇等に関する条例施行規則の制定について
	議案第31号	新潟市教育職員の特殊勤務手当支給条例施行規則の制定について
	議案第32号	新潟市教育職員退職手当支給条例施行規則の制定について
	議案第33号	新潟市特定教職員の俸給表の切替え等に関する条例施行規則の制定について
	議案第34号	新潟市臨時教育職員に関する規則の制定について
	議案第35号	新潟市学校事務共同実施に関する規則の制定について
	議案第36号	県費負担教職員の給与負担等の移譲等に伴う関係教育委員会規則の整備等に関する規則の制定について
	議案第37号	新潟市立幼稚園に勤務する教育職員の勤務時間等に関する規程の廃止について
	議案第38号	新潟市教育委員会組織規則の一部改正について
	議案第39号	新潟市教育長に対する事務の委任等に関する規則の一部改正について
	議案第40号	新潟市長から委任を受けた新潟市生涯学習センターの管理に関する規則の一部改正について
	議案第41号	新潟市公民館条例施行規則の一部改正について
	議案第42号	新潟市立図書館条例施行規則の一部改正について
	議案第43号	通学区域の一部変更について
	議案第44号	教育財産の用途廃止について
	議案第45号	新潟市いじめの防止等のための基本的な方針の改定について
	議案第46号	事務局及び機関の長の人事について
	議案第47号	教職員の人事措置について

○教育委員会会議の公開等に関すること

- ・会議について 原則公開（人事案件等非公開の場合あり）
- ・開催案内について ホームページ・市報にいがた等に掲載
- ・会議案件について ホームページで案件名を事前に公開
- ・会議録について 会議終了後、会議速報をホームページに掲載
会議録作成後、速やかに、ホームページに掲載及び
市政情報案内室において公開
- ・傍聴の平均人数 2.43人

- ・地教行法等に基づき、新潟市では毎月、教育委員会定例会及び必要に応じて臨時会を開催しており、平成28年度は14回の会議（定例会12回、臨時会2回）を開催しました。
（付議事件47件、報告案件24件）
- ・重要な案件については、教育委員会定例会の付議事件とする前に協議会の場において事前協議を行い、十分な検討を重ねています。（協議会案件3件）
- ・会議は原則公開で行っています。（人事案件等、非公開の場合あり。）

2 教育委員会会議以外の教育委員の活動状況

○意見交換会・懇談会

- 平成28年 6月 区教育ミーティング（西区，西蒲区）
平成28年 7月 総合教育会議
区教育ミーティング（北区，江南区，南区）
中学校区教育ミーティング（東石山，五十嵐，新津第五，潟東）
平成28年 8月 区教育ミーティング（東区，中央区，秋葉区）
中学校区教育ミーティング（岡方，白根北，山潟，上山，横越）
平成28年 9月 中学校区教育ミーティング（巻東，小須戸，木戸，早通）
平成28年10月 中学校区教育ミーティング（光晴，下山，柳都，味方）
平成28年11月 区教育ミーティング（西区）
中学校区教育ミーティング（月潟，小新，亀田，黒埼，巻西，小合）
平成28年12月 区教育ミーティング（北区，東区，中央区，南区）
中学校区教育ミーティング（亀田西）
平成29年 1月 総合教育会議
小中学校PTA連合会との懇談会
区教育ミーティング（江南区，秋葉区，西蒲区）
平成29年 2月 総合教育会議

- ・ 教育委員会と地域との連携強化，開かれた教育委員会を目指し，各区の自治協議会委員と区教育ミーティングを年2回行いました。また，各区3中学校区で中学校区教育ミーティングを行いました。
- ・ 総合教育会議を年3回開催し，市長と教育委員会が教育施策の方向性を共有し，相互連携して執行にあたるため，両者が協議・調整を行いました。

○市内視察

- 平成28年 5月 高志中等教育学校（シビックプライド醸成 ※新潟暮らし創造運動）
平成28年 6月 鳥屋野中学校（地域連携事業）
平成28年 7月 小須戸小学校，東山の下小学校（地域連携事業）
平成28年 8月 巻北小学校，上所小学校（地域連携事業）
平成28年 9月 江南小学校，赤塚小学校，新津第二小学校，豊栄南小学校，白根北中学校（地域連携事業），山田小学校（マイスター公開授業）
平成28年10月 庄瀬小学校，小新中学校，升潟小学校，沼垂小学校，南浜中学校，早通中学校，西内野小学校（地域連携事業），浜浦小学校（マイスター公開授業）
平成28年11月 新潟小学校，茨曾根小学校，小合小学校，味方小学校，金津中学校，両川中学校（地域連携事業），亀田西小学校（マイスター公開授業）
平成28年12月 桜が丘小学校，新津第一小学校，東石山中学校（地域連携事業），小針中学校（マイスター公開講座）
平成29年 1月 味方小学校，亀田西小学校，小針小学校，有明台小学校（地域連携事業）

- ・ 35カ所の学校の視察を行い，実際の教育現場の状況を把握するようにしています。
- ・ 視察の際は，教職員等と意見交換を行うなど，情報交換に努めています。

○行政視察（県外視察）

平成28年11月 京都府京都市

- ・京都市立御池中学校（小中一貫教育特区）
5・4制の小中一貫教育など、学校運営で4つの特色ある取組を行っており、学力向上や地域からの支援などさまざまな効果が得られている。
- ・京都市立住吉幼稚園・住吉小学校（教育課程研究指定校事業（幼小接続）指定園）
幼小接続の視点を取り入れることで授業改善につながり、子どもの安心・安定が向上し、主体的に学ぶ姿が見られるようになった。

- ・先進地の教育行政を参考にして、新潟市の教育行政に役立てるため、年に一度、県外の行政視察を行っています。
- ・京都市教育委員会の先進的な取組である、小中一貫教育、幼小接続の取組を視察しました。

○指定都市教育委員・教育長協議会・他団体関係

平成28年 4月 全県教育長会議

平成28年 5月 新潟県都市教育長協議会 春季定期総会
第1回指定都市教育委員・教育長協議会

平成28年 7月 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会

平成28年10月 新潟県都市教育長協議会 秋季定期総会
都道府県・指定都市新任教育委員研究協議会

平成29年 1月 第2回指定都市教育委員・教育長協議会

- ・指定都市教育委員・教育長協議会、新潟県都市教育長協議会に教育長が参加している他、その他連合会の研修等に教育委員も参加し、他指定都市や他市町村の教育委員とも積極的に情報交換をおこなっています。

○学校周年事業・卒業式等への教育委員の出席状況

平成28年 7月 開校記念式典（日和山小学校）

平成28年 9月 創立40周年記念式典（月潟小学校，新津第三小学校，五十嵐中学校）

平成28年10月 創立140周年記念式典（丸山小学校），創立70周年記念式典（内野中学校）

平成28年11月 創立40周年記念式典（上山小学校）

平成29年 3月 卒業式（万代高等学校，明鏡高等学校，高志中等教育学校，東特別支援学校，西特別支援学校）

○その他の出席

成人の日のつどい，小・中学校教員採用選考検査確認，公募校長採用試験審査，校長選考検査面接官，市立学校園長全体研修会，教科用図書特徴説明会・学習会，教育フォーラム，新任教育委員研修 等

3 平成 28 年度の主な取組と成果

新潟市教育ビジョン第 3 期実施計画は、平成 27 年度から 31 年度の 5 か年を期間とし、これまでの教育ビジョン前・後期実施計画の基本構想や基本計画を原則的に継続「NEXT」するとともに、新たな視点「NEW」を加えて策定しました。

平成 28 年度は、この計画に盛り込まれた施策を実施し、「学・社・民の融合による教育の推進」に引き続き取り組み、「地域と共に歩む学校づくり」の推進をはじめ、一つひとつの施策・事業が充実してきました。

教育委員会の主な取組と成果は、次のとおりです。

① 教育ミーティングの本格実施

区担当教育委員の活動として、教育情報を地域に発信するとともに、地域の実情を把握するため、各区の自治協議会と意見交換を行う区教育ミーティングを各区で 2 回実施しました。

また、中学校区内のコミュニティ協議会、保護者等と意見交換を行う中学校区教育ミーティングを、「地域と学校の連携について」をテーマに各区 3 中学校区計 24 回実施し、その中学校区内の教育の実情や取組などを共有し、地域と学校の連携を深め、地域全体で子どもを育てる気運の醸成を図りました。

② 学校適正配置の推進

子どもたちのより良い教育環境の確保を目指して策定された「学校適正配置基本方針」に基づき、複式学級や教室の不足が見込まれる緊急性の高い地域で「地域検討会」が設立されて協議をしています。平成 30 年 4 月には太田小学校が葛塚東小学校に編入します。

存続要望のあった学校区のコミュニティ協議会とは情報交換等を行い、今後の学校のあり方について検討を継続しています。

③ 一貫教育の検討

昨年度発足した新潟市一貫教育推進協議会において、公私立の幼稚園や保育園の各代表も参加し、就学前から義務教育終了までの一貫教育について協議しています。下部組織である小中一貫教育部会では、4 つのパイロット中学校区において実践を始め、情報を蓄積しています。また、幼・保・小連携部会では、接続カリキュラムの検討を重ねています。

④ 基礎・基本を身につける教育の推進

本市独自の単元評価問題の学校向け Web 配信を継続し、その結果や分析から、単元別の基礎的・基本的な知識・技能の習得状況を把握することで、授業改善に役立てました。

また、放課後の時間を活用した学習支援環境を整備し、主体的に学ぶ意欲・態度を育成するとともに、大学生などの学習支援ボランティアを引き続き各

校に配置するなど、児童生徒一人一人の学力実態の的確な把握と、きめ細かな指導に努めました。

その結果、全国学力学習状況調査では、小6、中3の国語A、国語B、算数A、算数B、数学A、数学Bの全ての調査問題で、全国平均を上まわりました。

⑤ 地域と学校パートナーシップ事業の充実

学・社・民の融合による教育を推進する取組として、「地域と学校パートナーシップ事業」を引き続き実施しました。事業に伴う、地域教育コーディネーターは302名、学校支援ボランティアの活動機会は延べ53,272回、延べボランティア数は269,096人となり、学校を中心とした地域コミュニティや地域の教育力の一層の向上が図られました。

また「地域と学校ドリームプロジェクト支援事業」において「ウェルカム参観日」を市内45校で開催し、教育活動の公開、学校職員や参加者同士の交流を深めることで事業の周知と推進を図りました。

⑥ 大好きにいがた体験事業の取組

新潟のよさを知り、新潟への愛着を育む学習活動を支援することを目的に、平成28年度に新規事業として取り組みました。30校の推進校が新潟のよさをもとに総合的な学習の時間を充実させました。

その成果を年度末に「にいがたきらっと発見 BOOK」にまとめ各学校に配付しました。また、公民館、図書館、区役所等で閲覧できるようにしました。

⑦ 第32期新潟市社会教育委員会議の取組

第32期社会教育委員会議では、本市の生涯教育施策の方向性についてまとめた前期の建議「新潟市の生涯学習のあるべき姿『ともに学び、育ち、創る』～ゆたかな新潟をめざして～」を更に掘り下げ、施策を推進するため『学びの循環』による人づくり」を第32期の建議テーマに決定し、調査・研究を進めました。

学びの成果を自己にとどめずに、他者の学びを支え、地域課題の解決に生かすなど、「学びの循環」の観点から「学校」・「社会教育施設」・「地域」を舞台にした取組みの視察や関係者からのヒアリングを行い、来年度末の建議提出に向け協議を重ねました。

⑧ 新潟市いじめ防止市民フォーラム（教育フォーラム2016）の実施

「いじめは人権侵害であり、人権侵害はどのような理由があっても許されない。」ということについての市民の意識を高め、いじめの防止を確実にを行うために、本フォーラムを開催しました。

フォーラムの第1部では鳴門教育大学 森田洋司特任教授から「いじめを止められる社会を目指して」というテーマで講演いただきました。

第2部のトークタイムでは、「いじめを生まない、いじめを止められる社会

をつくるために、わたしたちがすべきことは何か？」というテーマで、森田洋司特任教授，地域教育コーディネーターの郷扶二子氏，篠田昭市長の3名が，学校や地域で子どもが安心して楽しく過ごせるために，大人がすべきことは何かを，それぞれの立場や視点から意見交換しました。

フォーラムをとおして参加者全員が，社会全体でいじめの防止に向けて，いじめを生まない風土づくりに取り組むことが大切であることを認識しました。

⑨ 少子化対策について

「新潟未来ビジョン」に則った少子化対策の取組の一つとして，地域少子化対策重点推進補助金を受け，結婚を希望する男女を対象に人材育成を目的としたセミナーと出会いの場となるイベントを連続して開催しました。

参加者は，セミナーを通してスキルアップすることで，自信を持ってイベントに参加し，最終的に19組38人のマッチングに成功しました。

引き続き，若者対象とした事業の開催を通して，個人のスキルアップと出会いの場・交流の場の提供を行っていきます。

⑩ 第二次新潟市子ども読書活動推進計画による読書活動の推進

平成27年3月に策定した第二次計画（平成27～31年度）に基づき，図書館をはじめ，家庭，保育園・幼稚園，学校，地域において，子どもの読書環境の整備を進めました。

ブックスタート事業や家族で一緒に読書を楽しむ「うちどく」を引き続き実施したほか，子育て世代の図書館利用を促す「赤ちゃんタイム」を実施する図書館を拡大しました。

また，学校図書館活用推進校の指定や，特別支援学校の学校司書配置に向けた検討など，学校図書館の充実に努めました。

II 新潟市教育ビジョンの施策評価について

新潟市教育ビジョンの平成28年度の実施状況について、有識者の知見を活用した評価を以下に示します。

1 平成28年度施策評価一覧

全施策の平均 4.12 (NEXT&NEWの平均 4.10)

○評価分布 (評価対象51指標)

・目標を上回って達成…17.6% ・目標を概ね達成…66.7% ・目標をもう少しで達成…9.8%
 ・目標を下回った…3.9% ・目標を大きく下回った…2.0%

凡例
 目標を上回って達成 …5
 目標を概ね達成 …4
 目標をもう少しで達成…3
 目標を下回った …2
 目標を大きく下回った…1

基本施策 (13施策)		施策 (54施策) 網掛…[NEXT]&[NEW]に該当する施策		H28施策評価 (後期進捗)	
1 確かな学力の向上		1-1(1) 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進	4.3	3.9	
		1-1(2) 学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進	4.3		
		1-1(3) 基礎・基本を身に付ける教育の推進	3.4		
		1-1(4) アグリ・スタディ・プログラムの推進	4.0		
		1-1(5) 学習習慣の定着	5.0		
		1-1(6) 読書活動の推進と新聞活用の充実	2.5		
2 豊かな心と健やかな体の育成		2-1(1) いのちの教育・心の教育の推進	4.3	3.9	
		2-1(2) 一人一人の成長を促す生徒指導の推進	3.6		
		2-1(3) 体験活動・ボランティア活動の充実	4.0		
		2-1(4) 文化・芸術活動体験の推進	5.0		
		2-1(5) 体力づくりの推進	3.0		
		2-1(6) 健康づくりの推進	3.5		
		2-1(7) 食育の推進	4.0		
		2-1(8) 青少年の健全育成の推進	4.2		
3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成		3-1(1) 地域学習の充実	5.0	4.5	
		3-1(2) 外国語教育・国際理解教育の充実	4.5		
		3-1(3) 情報教育の充実とICTを活用した教育の取組	4.7		
		3-1(4) 主体的な取組を促す環境教育の推進	4.5		
		3-1(5) 海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進	4.0		
4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進		4-1(1) 子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進	5.0	4.3	
		4-1(2) 特別支援教育のサポート体制の推進	5.0		
		4-1(3) 早期からの就学相談・支援の充実	3.0		
5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり		5-1(1) 新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組	4.0	4.5	
		5-1(2) 幼児教育の充実と幼保小連携の推進	5.0		
6 人権を守り共に支え合う社会の推進		6-1(1) 人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進	4.6	4.3	
		6-1(2) 交流・体験活動の推進	4.0		
7 家庭教育の充実と子育て支援		7-1(1) 家庭教育充実への支援	4.7	4.6	
		7-1(2) 子育て支援の充実	4.5		
8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実		8-1(1) 主体的な学習を支えるシステムづくり	4.0	4.7	
		8-1(2) 学び育つ各世代への支援	5.0		
		8-1(3) 地域における生涯学習活動への支援	5.0		
9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進		9-1(1) 地域と共に歩む学校づくりの推進	4.5	4.0	
		9-1(2) 広報広聴活動の推進	4.0		
		9-1(3) 学校・地域・NPO等の協働の推進	4.5		
		9-1(4) 高等教育機関及び企業との連携推進	4.7		
		9-1(5) 子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画	4.0		
		9-1(6) 市民の生涯学習施設運営への参画	2.5		
10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進		10-1(1) 防災・安全教育の充実	4.0	4.0	
		10-1(2) 保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進	4.0		
		10-1(3) 安全な学校施設	4.0		
		10-1(4) 学びを支援する体制の整備と充実	4.0		
11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備		11-1(1) 効果的な指導を支援する施設設備の充実	4.0	3.6	
		11-1(2) コミュニティの拠点としての学校整備	5.0		
		11-1(3) 学校施設の整備	1.0		
		11-1(4) 生涯学習施設を核とした学習環境の整備	4.3		
12 市民に信頼される教育関係職員の育成		12-1(1) 教育関係職員の研修プログラムの充実	4.0	4.1	
		12-1(2) 教職員への支援体制の充実	4.3		
		12-1(3) 信頼される教職員の採用・登用・配置	4.0		
		12-1(4) 教育関係職員の人事管理の適正化	4.0		
13 ニーズと課題に応える教育行政の創造		13-1(1) 新潟らしい教育改革の推進	4.0	4.0	
		13-1(2) 効果的・効率的な執行体制の整備			
		13-1(3) 教育情報の収集と発信	4.0		
		13-1(4) 学校適正配置			
		13-1(5) 教育施策の管理と適切な評価	(3.0)		

2 主な施策・事業の評価状況

「NEXT」&「NEW」に該当する施策を取り上げています。

1 確かな学力の向上

1- (1) 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進

主な事業 ・持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業
・「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進

H28施策評価
4.3

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		20.0	50.0	75.0			
進捗状況	-	42.5	72.0				
指標2	「アクティブ・ラーニング」を実施した学校の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0			
進捗状況	92.0	95.0	100.0				
指標3	放課後の学習支援をする中学校(校)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56	56	56			
進捗状況	-	56	56				
指標4	環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		1.0	1.0	1.0			
進捗状況	1	1.0	1.0				
指標5	環境教育事業の実施						H28評価
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
指標目標		実施	実施	実施			
進捗状況	実施	実施	実施				

□すべての学校が、「アクティブ・ラーニング」を取り入れた教育活動を実施した。

○4月に第1回の研究主任研修会を開催し、アクティブ・ラーニングの充実に向けた全体指導を行うとともに、各学校の取組計画についてグループ協議で検討を行い、研究主任が各学校で取組をリードできるよう支援した。その後、計画訪問及び要請訪問を通じて、各学校の状況に応じて個別の支援・指導を継続した。その結果、学びの質や深まりを重視する授業づくりが着実に広まっている。

○アフタースクール学習支援員については、今年度、数学25名、英語29名を登録し、英語は全56中学校、数学は54中学校に配置した。5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校もある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。10月には学習支援員の研修会を行い、支援の質の向上に努めた。

1- (3) 基礎・基本を身に付ける教育の推進

主な事業 ・学力実態調査 ・学習支援員派遣事業
・学力定着支援事業 ・理数好きプロジェクト
・アフタースクール学習支援事業

H28施策評価
3.4

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		61.7	61.9	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	70.7	68.5	63.5				
指標2	全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
指標目標		59.7	59.9	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	73.4	56.0	50.0				
指標3	全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
指標目標		53.2	53.4	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	67.3	66.1	49.0				
指標4	全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
指標目標		61.2	61.3	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	62.8	48.2	52.0				
指標5	児童質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		84.0	84.5	85.0			
進捗状況	83.1	87.7	87.4				
指標6	児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		70.5	71.0	72.0			
進捗状況	69.8	70.7	74.4				
指標7	生徒質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		80.0	80.5	81.0			
進捗状況	79.1	85.0	84.2				
指標8	生徒質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		70.0	71.0	72.0			
進捗状況	69.0	70.5	71.6				

□継続した授業改善の取組により、全国学力調査で、多くの児童生徒が全国平均を上回った。

○【全国学力・学習状況調査による正答率】
・国語A 小学校：76.3%(全国比+3.4)、中学校：76.8%(全国比+1.2)
・国語B 小学校：61.3%(全国比+3.5)、中学校：67.4%(全国比+0.9)
・算数数学A 小学校：79.7%(全国比+2.1)、中学校：62.7%(全国比+0.5)
・算数数学B 小学校：49.1%(全国比+1.9)、中学校：45.6%(全国比+1.5)

○全国学力調査の国語・算数・数学のB問題において、平均正答率は全国平均より新潟市平均が大きく上回っているものの、指標2～4に見られるように全国平均正答率を上回る児童生徒数の割合は指標目標を下回った。これは、正答数が低かった児童生徒が各事業によって中位程度まで向上してきた反面、中位の児童生徒が上位には上がらなかったためである。

○学校訪問の継続により、組織的な授業改革が浸透してきた。校長・教頭・研究主任に対し、継続的に授業マネジメント研修を行うことで定着してきたと考えられる。また、8月に教諭全員を集めて実施した授業づくり研修により、中学校の授業改革が進んできた。

○算数・数学の単元評価問題等の配信は、今年度から経年変化が分かるグラフが出るように修正した。指導の要点をもとに指導を行い、評価問題に取り組む学校が増えてきた。

1-(4) アグリ・スタディ・プログラムの推進

主な事業 ・「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進

H28施策評価
4.0

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している小学校の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0				
指標2	アグリ・スタディ・プログラム評価・サポート委員会によるプログラムの検証率(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	25.0	50.0	75.0	100.0	100.0		
進捗状況	-	25.0	50.0				

□すべての小学校が「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施した。

○アグリ・スタディ・プログラム(以下ASP)総合推進会議の検討内容を受け、各区小学校代表校長(8名)と代表中学校長(4名)からなるASP推進委員会を2回開催した。そこでは、総合推進会議で示された方向性に基づいて、各区において具体的にどのように取り組むかについて情報交換を行った。

○教職員向けのASP研修会を4回開催した。ここでは、搾乳体験などのASPの体験プログラムを実際に体験するとともに、それを取り入れた具体的な指導方法についての研修を行った。参加者からは、すぐに自分の実践に活用できる研修内容として好評を得た。

1-(6) 読書活動の推進と新聞活用の充実

主な事業 ・学校図書館活用推進校事業 ・学校図書館支援センター事業
・学校図書館支援事業 ・新聞活用の推進

H28施策評価
2.5

【NEXT5】

○子どもの読書活動を推進するとともに、市民が自ら課題解決を図るための読書環境を充実していきます。

●施策の目標

指標1	学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	1
指標目標	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0		
進捗状況	77.2	75.6	46.8				
指標2	学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」行った中学校の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0		
進捗状況	55.1	62.1	55.2				
指標3	中学生の不読率(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	12.0	11.5	11.0	10.5	10.0		
進捗状況	12.1	12.3	11.8				
指標4	ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)→H29～週に1回以上新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	1
指標目標	2.8	2.8	2.8				
進捗状況	2.7	1.0	1.1				

□読書活動推進により、中学校で不読率が改善方向を示してきた。

○指標1のH28評価が低評価に止まったのは、全国学力・学習状況調査の項目内容が「図書館の活用」から「図書館資料の活用」に変わったためである。今後、教育委員会で実施している調査結果を用いて評価していく。

○学校図書館活用推進校事業の説明会を5月18日に開催し、今年度の活用推進校33校(小学校22校・中学校11校)が参加した。2月に各区で行われた実践報告会では、「読書センター」「学習・情報センター」としての機能を意識した優れた実践報告が行われた。また、総合教育センターの研修講座「教員と司書との連携充実」(8月5日「図書館活用推進編」、9月16日「探究学習編」)には多くの推進校の教員と司書が参加し、学校図書館を活用した探究型学習について学びを深めた。

2 豊かな心と健やかな体の育成

2-(2) 一人一人の成長を促す生徒指導の推進

主な事業 ・いじめ対策等生徒指導推進事業
・教育相談ネットワーク事業
・カウンセラー等活用事業

H28施策評価
3.6

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち、肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	66.7	66.7	67.0				
進捗状況	61.1	83.3	69.2				
指標2	小学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	100.0	97.0		100.0	
進捗状況	96.2	99.1	95.8				
指標3	中学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	100.0	100.0	97.0			100.0	
進捗状況	94.5	96.3	98.1				
指標4	小学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
指標目標	0.38	0.38	0.38				
進捗状況	0.40	0.40	0.44				
指標5	中学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	2.65	2.62	2.60				
進捗状況	2.69	2.64	2.64				

□いじめ認知件数が大幅に増加し、いじめ認知に向けた意識が高まった。

○「新潟市いじめ防止等のための基本的な方針」について、迅速かつ組織的・実効的に対応できるように改訂し、各学校園に周知した。

○4月の学校マネジメント研修では、「いじめの認知と対応」「学校・学級の諸問題への対応について説明し、校長への周知と理解の促進に努めた。

○11月12日(土)に開催した「新潟市教育フォーラム2016(いじめ防止市民フォーラム)」を開催し、新潟市全体でいじめの実態と対応策を共通理解する機会とした。全中学校区から、総計約450名が参加した。

○これまでのスクールカウンセラーの学校への配置に加えて、新たに86校の小学校にスクールカウンセラーを配置し、本年度より、すべての市立学校にスクールカウンセラーの配置を行った。

3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成

3- (2) 外国語教育・国際理解教育の充実

- 主な事業
- ・外国語指導助手(ALT)配置事業
 - ・国際交流事業
 - ・外国語教育支援事業

H28施策評価

4.5

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	新潟市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	74.5	75.0	75.0	82.0			
進捗状況		73.8	81.1				
指標2	新潟市生活・学習意識調査(中3)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した生徒の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56.5	56.5	57.0			
進捗状況	56.0	54.6	56.7				

□「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童生徒数が増加した。

・小中高連携をテーマに協力校3校(上所小、鳥屋野中、万代高)による公開授業を行い、指導内容と評価法を見直した。その研修の成果を12月16日に行われた外国語教育マネジメント研修において、全小中高の英語科主任や外国語担当と共有した。

・8月に、現在の英語力の把握とさらなる英語力向上への意識高揚を図るため、中学校英語担当教員に対して英検IBA受検を行った。(140名の中学校英語担当教員が受検)

・小学校と中学校の授業づくり研修会において、外部専門機関から指導者を招聘し、英語指導力の向上を図った。(計3回)

3- (3) 情報教育の充実とICTを活用した教育の取組

- 主な事業
- ・タブレット等ICT活用研修(教職員研修)

H28施策評価

4.7

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した小学校教職員の割合(%)						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		66.6	66.6	70.0		70.0	
進捗状況	65.7	60.3	98.0				
指標2	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した中学校教職員の割合(%)						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		51.0	51.0	55.0		55.0	
進捗状況	50.0	50.0	97.0				
指標3	「アクティブ・ラーニング」の実施した学校の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0			
進捗状況	92.0	95.0	100.0				

□小・中学校で、情報通信技術を活用した協働学習や課題解決型の学習指導の実施が大幅に増加した。

○タブレット機器の新規導入校に、活用の基礎となる操作説明会を実施し、授業での活用を促した。

○4月に第1回の研究主任研修会を開催し、アクティブ・ラーニングの充実に向けた全体指導を行うとともに、各学校の取組計画についてグループ協議で検討を行い、研究主任が各学校で取組をリードできるよう支援した。その後、計画訪問及び要請訪問を通じて、各学校の状況に応じて個別の支援・指導を継続しているところである。学びの質や深まりを重視する授業づくりが着実に広まっている。

3- (5) 海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進

- 主な事業
- ・日本語指導協力者派遣事業
 - ・外国人児童生徒への支援体制の整備

H28施策評価

4.0

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
進捗状況	85.0	81.8	82.1				

□海外帰国・外国人児童生徒が学校生活にスムーズに適應できた。

○年度当初、日本語指導協力者連絡会を開催し、事業の実施について協力者及び学校関係者と共通理解を図った。

○各学校から要請のあった対象児童生徒38名(25か校)に対して、延べ25名の日本語指導協力者を派遣している。派遣回数は、児童生徒の日本語能力の実態に応じて15回~25回(1回2時間)としている。

4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進

4-1(1) 子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進

主な事業・インクルーシブ教育システム構築の推進事業

H28施策評価
5.0

【NEW5】

○共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を始めます。

●施策の目標

指標1	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500		
進捗状況	1,500	1,616	1,585				

□特別支援教育に関する公的研修を通じて、インクルーシブ教育システムの認識が高まった。

○3回実施した合理的配慮セミナーは、それぞれの回の受講対象者を「特別支援教育コーディネーター+希望者」「教頭」「生徒指導担当者+希望者」とし、特別支援教育を学校体制として推進できるようにした。アンケートの評価、満足度とも非常に高く、合理的配慮の提供に必要な校内支援体制、組織整備に関して、認識が高まった。

○市立明鏡高等学校の文部科学省指定事業「高等学校における通級指導教室の研究」について、3年間の継続研究の成果発表会を行い、県内外から163人の参加があった。

4-1(3) 早期からの就学相談・支援の充実

主な事業・早期からの就学支援の推進

H28施策評価
3.0

【NEW5】

○共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を始めます。

●施策の目標

指標1	入学支援ファイルの活用件数(年度ごとの数)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
指標目標	300	350	310				
進捗状況	280	331	315				

□小学校新入学生の「入学支援ファイル」のより一層の活用のため、目的や活用例を説明した。

○小学校新入生の「入学支援ファイル」の活用状況調査において、「入学支援ファイル」の提出は315人であり、新入生の4.8%の提出である。特に特別支援学級在籍児童の提出は、90.2%であった。

○特別支援教育管理職研修や幼稚園研修において、就学支援や「入学支援ファイル」の目的や活用例について説明し、保護者と学校との連携を促した。

5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり

5-1(1) 新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組

主な事業・小中一貫教育パイロット事業
・学校間連携推進事業

H28施策評価
4.0

【NEW5】

○未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成のため、校種間の連携をさらに進めます。

●施策の目標

指標1	小中一貫教育推進協議会(回)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	発足	3	2				
進捗状況	-	発足	3				
指標2	新規パイロット事業実施中学校区数(延べ数)→H29～新潟市にふさわしい小中一貫した教育に取り組んだ中学校区数(延べ数)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	-	4	8	24	40		
進捗状況	-	-	4				
指標3	学び方等、共通の取組を設定した中学校(校区数)						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標	56	56	56			56	
進捗状況	-	55	56				

□幼・保・小・中連携事業についての実践事例集を編集し、取組を広める体制ができた。

○「小中一貫教育部会」を3回(平成27年度から通算5回目)開催した。4つのパイロット校における実践をもとに情報交換を行い、各校の実施内容と現状における課題などについて協議した。実践を通して、小中一貫教育を各中学校で進める際の共通プログラムと独自プログラムのイメージが明らかになってきた。また、第5回の部会では、平成29年度からのパイロット校にも参加してもらった。実践を始めるにあたって不明な点を確認することができた。

○「幼保小連携部会」では、今年度から新潟版アプローチカリキュラムの作成に向け、教育課程の編成を担当する主任級の委員を新たに加えることで、現場の声を反映させやすくなった。協議を通じて新潟版アプローチカリキュラムの概要が明らかになってきた。

5- (2) 幼児教育の充実と幼保小連携の推進

主な事業 ・幼保小連携推進事業
・幼保小合同研修会

H28施策評価
5.0

【NEW5】

○未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成のため、校種間の連携をさらに進めます。

●施策の目標

指標1	幼稚園・保育園との連携の充実を図り、小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会を実施した小学校の割合(%)						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		10.0	95.0	100.0		100.0	
進捗状況	-	90.0	100.0				
指標2	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている小学校の割合(%)						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		10.0	40.0	70.0		70.0	
進捗状況	-	30.0	72.0				
指標3	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市立幼稚園の割合(%)						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		27.3	90.0	100.0		100.0	
進捗状況	-	81.2	100.0				
指標4	隣接する小学校区における、幼稚園、保育園、小学校等の職員を交えた研究保育を年間複数回実施した市立幼稚園の割合(%)						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		18.1	63.6	90.0		90.9	
進捗状況	-	54.5	90.0				

□研修会を通じて、幼・保・小の接続カリキュラムについての意識が高まった。

○8月4日、中之口幼稚園において新潟市幼保小連携推進事業合同研修会を開催し、西蒲区内小学校・公私立幼稚園・保育園の教員・保育士等57名が参加した。公開保育をもとにした協議と幼保小連携や接続に関する情報交換が行われた。幼児期の教育で大切にされていることをどのように小学校における教育へとつなげていくか参加者が熱心に協議した。

○市立幼稚園教育研究協議会の研修会の際、アプローチカリキュラム作成について指導・助言し、幼小接続カリキュラム作成への意識が高まった。

8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実

8- (2) 学び育つ各世代への支援

主な事業 ・にいがた市民大学開設事業 ・現代的課題を学ぶ公民館事業
・学習成果を発表する場の提供 ・子どもの読書環境の整備
・子どもが読書に親しむ機会の充実
・仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業

H28施策評価
5.0

【NEXT5】

○子育てや各世代の学びに対する支援に努め、地域の教育力の活用を推進します。

●施策の目標

指標1	にいがた市民大学の受講率(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
進捗状況	84.5	122.5	112.5				
指標2	現代的課題を学ぶ事業の実施						H28評価
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
指標目標		実施	実施	実施			
進捗状況	-	実施	実施	実施			
指標3	文化祭・芸能祭等の実施						H28評価
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
指標目標		実施	実施	実施			
進捗状況	-	実施	実施	実施			
指標4	児童書の貸出冊数(冊)12歳以下の子ども1人あたり						H28評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		12.2	12.4	13.2			
進捗状況	12.1	13.1	13.1				
指標5	レファレンス受付件数(件)						H28評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		72,000	72,800	90,000			
進捗状況	69,600	83,157	94,580				

□市民の学習活動の場の確保に努めた。

◎にいがた市民大学：市民提案講座や大学コンソーシアム連携講座など、専門性の高い講座や、時代と社会の要請に応えた講座を合計5講座開設した。定員を上回る受講申し込みがあり、市民の高度で専門的な学習要求に応えた。

○若者を対象に社会人としての能力を高め、他業種の人とのネットワークを広げる機会となる講座や高齢者の健康と生きがいづくりと地域社会参加への支援など、現代的課題の学習機会を提供した。講座受講生が、自主サークルを結成し、更に学習を進め、次年度の講座でスタッフとして参加するなど、学習成果が生かされている。

○公民館で活動している団体の、日頃の学習成果を発表する場として、文化祭や芸能祭を開催し、公民館利用団体等の活性化と学習意欲の向上を図った。

○図書館や学校などでの読み聞かせを行えるよう、読み聞かせボランティアを新たに47名養成した。

9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進

9- (1) 地域と共に歩む学校づくりの推進

主な事業 ・地域と学校パートナーシップ事業
・ふれあいスクール事業
・公民館出前型事業

H28施策評価
4.5

【NEXT5】

○学・社・民の融合による教育を推進します。

●施策の目標

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		1,240	1,270	1,640	1,670	1,700	
進捗状況	1,210	1,531	1,611				
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(回数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり回数)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	
進捗状況	1.93	1.97	2.02				
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		4	4	20	24	27	
進捗状況	-	4	4				
指標4	公民館出前型事業の実施校数(校)						H28評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		66	67	94			
進捗状況	66	72	89				

□すべての市立学校に配置された地域教育コーディネーターが地域と共に歩む学校づくりを推進した。

○地域と学校パートナーシップ事業については、地域から多くの学校支援ボランティアの協力を得て、学習活動の充実、子どもたちの人間関係の広がりと深まり、子どもたちが認めてもらえる機会の増加がみられた。また、地域の地域貢献活動や社会教育施設及び地域コミュニティ協議会との協働事業が増加傾向にある。

○ふれあいスクール事業は、28年度新たに1校を加え、小学校67校で実施した。また、ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行った。

9-(4) 高等教育機関及び企業との連携推進

主な事業 ・高等教育機関活用推進事業
・図書館と教育機関・企業との連携・協力

H28施策評価

4.7

【NEW5】

○学校や公民館・図書館などにおいて、多様なニーズに応じた学習機会の充実を図るため、企業や民間団体と連携する取組を始めます。

●施策の目標

指標1 高等教育機関からの専門的な情報提供、指導等を受けている教育課題(課題)							H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		2	3	3			
進捗状況	1	2	3				
指標2 にいがた市民大学の受講率(%)							H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
進捗状況	84.5	122.5	112.5				
指標3 連携・協力の実施状況(連携事業数)(件)							H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		9	9	9	9	9	
進捗状況	9	11	11				

□高等教育機関・企業等と連携・協力し、多様なニーズに応じた学習機会を提供した。

○外国語教育については、文科省の英語強化事業「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を実施し、県外から指導者を招いて、授業を参観してもらうとともに、研究授業の指導案検討の際は、中・高の英語教師の指導力向上にむけての助言をもらった。

○平成28年度より、新たに公益財団法人新潟市国際交流協会との連携による「外国語の絵本の読み聞かせ」、新潟薬科大学との連携による「図書館活用ゲーミフィケーション(図書館の活用方法を学ぶための大学生向け図書館ガイドランス)」を行い、好評を得た。

10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進

10-(1) 防災・安全教育の充実

主な事業 ・「防災教育」学校・地域連携事業(ふるさと新潟防災教育推進事業)

H28施策評価

4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

指標1 「防災教育」学校・地域連携事業指定校数(校・累計)							H28評価
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		34	68	102	136		
進捗状況	8	34	69				

□「防災教育」学校・地域連携事業の35指定校で、小中学校及び地域と連携した自校化プログラムを作成した。

○各校の防災担当者及び地域教育コーディネーターを対象に、「防災教育」学校・地域連携事業実施研修会を開催した。新潟県防災教育プログラムの「教職員ガイド編」を用いて、防災教育の理念と防災教育の自校化についての説明を行った。また、平成27年度指定校による活動報告(4校)及び中学校区単位でのワークショップを行った。各校の防災教育実践の方向と指導計画自校化のイメージをもつことができるようになった。

10-(4) 学びを支援する体制の整備と充実

主な事業 ・就学援助事業
・奨学金貸付事業(高校～大学院)
・社会人奨学金貸付事業

H28施策評価

4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

指標1 就学援助制度の保護者への周知率(%)小学校							H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0		100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0				
指標2 就学援助制度の保護者への周知率(%)中学校							H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0		100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0				
指標3 奨学生(高校～大学院)の採用率(%)							H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0			
進捗状況	100.0	100.0	100.0				
指標4 奨学生(社会人)の採用率(%)							H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0			
進捗状況	100.0	100.0	100.0				
指標5 ふれあいスクール週当たり開催(回数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり回数)							H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	
進捗状況	1.93	1.97	2.02				
指標6 土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)							H28評価
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		4	4	20	24	27	
進捗状況	-	4	4				
指標7 放課後の学習支援をする中学校(校)							H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56	56	56			
進捗状況	-	56	56				

□就学援助事業、奨学金貸付事業を着実に実施し、保護者や採用者に対しての経済的負担の軽減を図った。

○就学援助事業は、小・中学校を通じて保護者全員に「就学援助制度についてのお知らせ」を4月及び10月の年2回配付し周知を図った。児童生徒数59,162人のうち、認定した16,043人の保護者に対して、学校にかかる学用品費や給食費等の一部を援助し、経済的負担の軽減を図った。

○奨学金貸付事業は、募集人数120人に対し、98人の申請があった。そのうち選考基準を満たした93人について採用を決定し貸し付けを行い、高等教育の機会均等を図った。制度周知の強化を図るため、市内の高校を通じて、来年度に進学予定の高校3年生の約8,000人に対して、拡充した返還特別免除制度についての情報が掲載されている案内チラシを配付した。

○社会人奨学金貸付事業は、募集人数10人に対し、7人の申請があった。申請者全員について採用を決定し、キャリアアップを目指す社会人学生に対して経済的支援を行った。

11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備

11-（1）効果的な指導を支援する施設設備の充実

主な事業 ・学校ICT環境整備事業
・教育ネットワーク構築事業

H28施策評価
4.0

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合(%)						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		34.0	68.0	90.0	100.0	100.0	
進捗状況	5.0	34.0	68.0				
指標2	教育ネットワークの構築						H28評価
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
指標目標		調査・研究	調査・研究	導入方法検討	計画策定	開発	
進捗状況	-	調査・研究	調査・研究				

□**学校内のコンピュータ教室用の端末等機器、校内LAN用コンピュータ、教職員用コンピュータの更新を計画通りに実施した。**

○教育用コンピュータ、校内LANコンピュータの更新は下記の計画どおりに実施されている。更新作業は10月31日までに終了。
・更新計画 … 教育用コンピュータ 58校2,438台(内タブレット550台) / 校内LAN用コンピュータ 101校 567台(内タブレット480台)

○教育ネットワークの導入については、導入内容の検討を行った。

12 市民に信頼される教育関係職員の育成

12-（1）教育関係職員の研修プログラムの充実

主な事業 ・教育関係職員の研修プログラムの一層の充実
・学社民融合研修の推進

H28施策評価
4.0

【NEXT5】

○市民から信頼される学校・教育機関となるよう、人材の育成と職場の環境整備を進めます。

●施策の目標

指標1	各研修講座における受講者の満足度と活用度(%)						H28評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		80.0	85.0	85.0			
進捗状況	80.0	87.0	87.5				
指標2	マイスター養成塾修了者(人)						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		102	108	110	120		
進捗状況	102	103	110				
指標3	学社民融合研修会の実施(回)						H28評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		7	7	7			
進捗状況	7	7	7				

□**研修プログラムの改善により、講座受講者の満足度と活用度が目標を上回った。**

○前年度より6講座減らしたために、参加人数は減ったが、受講者の評価は高い数値を維持することができた。法定研修・若手教師道場での「指導主事等とのマンツーマンの授業づくり研修」の体制を堅持したこと、学校のニーズに応じた研修講座を提供したこと、参加型の研修方法を工夫したことが評価されている。

○パートナーシップ事業研修会に公民館の学社民融合支援主事、図書館職員が延べ98名参加して地域教育コーディネーターとの情報交換を行い、地域教育コーディネーターと社会教育施設とのネットワークづくりを促した。また、地域教育コーディネーターのスキルアップのため、研修運営を担当する地域教育コーディネーターによる研修幹事会と区研修を実施した。

13 ニーズと課題に応える教育行政の創造

13-（1）新潟らしい教育改革の推進

主な事業 ・区教育ミーティングの開催
・中学校区教育ミーティングの開催

H28施策評価
4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H28評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		16	16	16			
進捗状況	16	16	16				
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29～(中学校区数)						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		32	56	28	28		
進捗状況	8	32	56				

□**教育委員が担当区の区教育ミーティングや中学校区教育ミーティングに参加し、地域や中学校区の取組・課題の共通理解を図れた。**

○第1回目の区教育ミーティングでは、今年度教育委員会が進める施策のうち、特に市民と協働して行う事業について情報提供をし、意見交換を行った。第2回目では、各区の課題や特徴をテーマに話し合うとともに、教育委員から他区の事例を紹介するなど意見交換の充実を図った。

○中学校区教育ミーティングでは、各中学校区の取組や課題について意見交換し、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成を図った。

3 教育ビジョン推進委員からの主な質問・意見・要望と教育委員会の対応

施策1-(1) 「社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進」

○ ESD（持続可能な開発のための教育）の広報はどのように行っているのか。また「アクティブ・ラーニング等の取組を研究主任が各学校でリードできるよう支援した」とあるが、研究主任は校内のどのような人が務め、教育委員会は学校の支援要請に十分に答えられているのか。

⇒ ESDについては学校支援課で作成している広報紙等を通じて周知している。研究主任は教諭が務め、授業研究やESDの実施計画等を立てて推進している。学校支援課では計画訪問は2年に1回、要請訪問は各校からの要請に応じて対応している。この他にも総合教育センターの研修や出前講座等で学校の支援にあたっている。

施設1-(5) 「学習習慣の定着」

○ 「家庭学習を1時間以上する中学校2年生の割合」は増えているが、どのように調べているのか。また小学校6年生や中学校の各学年ごとの状況などはわかっているのか。

⇒ 新潟市の生活・学習意識調査は小中学校全学年を対象にしている。「していない」から「3時間以上している」までの幅で状況の把握はしている。全国学力学習状況調査は小6と中3で行われているが、小学校は全国と同じか少し良い状況で、中学校は全国を下回る状況である。

施策1-(6) 「読書活動の推進と新聞活用の充実」

○ 図書館の活用や読書の推進等に取り組んでいるが、読書の感想文を書いたり、その発表を通じて、人の心を育てることはとても大切であると思うが、そのようなことは行われているのか。

⇒ 指標では明確に表れていないが、学校司書を中心に、学級担任等との連携の上で実施されている。

施策3-(2) 「外国語教育・国際理解教育の充実」

○ 小学校3年生からの導入、現中学校3年生が臨む大学入試の改革等を踏まえて、市としての考え方について教えてほしい。また今後、小学校教員に対する研修はどのように変わっていくのか、具体的に教えてほしい。

⇒ 昨年度から小中高連携研究指定校を設置して校種を超えた英語指導の研究に取り組んでいる。また小学校で英語が完全実施される32年度を目途に、子どもたちの英語力を高めるために、計画訪問や要請訪問を通じて、子どもたちが協働性を発揮して学ぶアクティブ・ラーニングの推進を指導している。

小学校教員の研修については、毎年、小中1名の教員が文部科学省の研修を受け、市内の10数名の中核教員に6回の研修を通じて伝達している。次年度はその中核教員が他の教員に伝えていく計画を行う。ALTには、現在の31名を、平成32年までに40名程度に増やす計画である。

○ 英検IBAを140名が受検しているが、全中学校英語教員のどれだけの割合になるか、また今後は、小学校や高等学校にも拡大していくのか。

⇒ 140名は全中学校英語教員の人数である。今のところ、中学校英語教員の力量向上を考えて実施している。

施策4-(1) 「子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進」

○ 「インクルーシブ教育システム」を推進する上で、特別支援教育支援員やソーシャルスキルコーチ、特別支援教育サポーター、クラスサポーター等の配置で、子どもを支援するための学校からの要請に応えられているのか。

⇒ 配置基準に沿って配置はできており、現状では足りているが、学校からは更に人手がほしいという要請があり、必要などころには配置をしている。

○ 特別支援教育の教員研修はとても大切であるが、実際にどのような方法で行われ、受講した教員の割合はどの程度であるか。

⇒ 平成28年度は校長・教頭を対象に実施し、管理職、特別支援教育コーディネーター、他の教員へと進めていった。概ね4,000人の教職員に対して、毎年1,500人ずつ実施していき、インクルーシブ教育システムの意義や求められている取組等の理解を図り、推進していく。

○ 特別支援教育やいじめ対応の研修等では、危険性をもつ状況等を認知できる感性を育むことが大切である。聞くだけの研修でなく、様々な事例検討を通じた感性を磨く研修を目指してほしい。その際、特別支援教育サポートセンターや各区担当指導主事からアセスメント等を指導していただきたい。

⇒ 一人一人の職員が参画し、様々な事例から学んでいくことはとても大切であり、今後の研修計画に活かしていきたい。

施策4-(3) 「早期からの就学相談・支援の充実」

○ 入学支援ファイルの活用について、新入生の4.8%は少ないとの印象を受ける。幼稚園や保育園から子どもを受け入れる小学校は、もっと提出してほしいと願っているのではないか。また入学支援ファイルを記入するのは保護者であるのか。

⇒ 全新生約6,000人の5%であれば300人。普通学級の在籍の児童であり、少ない数値ではないと考えられる。入学支援ファイルは、保護者に説明して、保護者の同意の下、担当教員も記載し、場合によっては療養施設や医師からも記載してもらっている。

施策8-(2) 「学び育つ各世代への支援」

○ 「にいがた市民大学」であるが、今後の開催のねらいを含めて、市民大学の意義を教えてください。また講座で学んだ学習成果を活かすための取組が大切であるが、そのために次年度の講座スタッフとして参加したり、自主組織で更に学んだりすることはあるのか。

⇒ 民間団体等も各種の講座を行っている状況を踏まえて、今後も専門性の高い、また時代のニーズにあった内容で、学習機会を提供していく。学んだことを、他地域や他団体等に入って伝えたり、共に活動したりする「学びの循環」は大切であり、主要な事業の1つとして取り組んでいきたい。

○ 図書館事業の「赤ちゃんタイム」や「うちどく」が始まったきっかけや現状、課題などを教えてください。

⇒ 「赤ちゃんタイム」は乳幼児を連れて図書館に行けることを目的に、平成26年度に中央図書館で始め、現在は全19図書館で実施している。楽しみに来館していただき、来館者同士の交流も生まれ

ている。「うちどく」は家族と一緒に本を読んだり、感想を話し合ったりして、家族のコミュニケーションを深めることを目的とした家庭内の読書を勧める事業である。

今後更に広く周知するため、ロゴマークの活用、ブックリストの広報、読書ノートの配布等を継続して行っていく。

施策9-(1) 「地域と共に歩む学校づくりの推進」

○ 地域と学校ウェルカム参観日は、昨年度16校から45校に拡大しましたが、参観者は何人だったのか。また授業参観日だからこそ増えたのか。

⇒ 45校で12,767人、昨年度と比べ約4倍となっている。通常の授業参観を拡大している場合もあるが、地域の方に来ていただくためにという場合もあり、各校で異なる。地域の方はおよそ3,000人が来校していた。

施策9-(3) 「学校・地域・NPO等の協働の推進」

○ 「共生社会」や「学・社・民」等により、アウトリーチ型の支援が行われていると思うが、新潟市の事例等について紹介してほしい。またコミュニティ協議会など、地域の組織等が参画していることはあるのですか。

⇒ 地域との連携を大切に、NPOの方々との連携は約半数の学校で行われている。大学や専門学校とでは53%の学校が連携している。連携内容は、生活指導や学力向上など学校の必要感に基づいて行われ、地域教育コーディネーターが連携先との橋渡しや内容の相談をしている。昨年度、コミュニティ協議会と学校が連携して取り組んだ学校数は、153校であり、全学校の92%である。

施策11-(1) 「効果的な指導を支援する施設設備の充実」

○ タブレット型コンピュータの配置完了時の状況について、教えてほしい。また協働的な学びや集団性を高める取組のためにはとても有効な機器であるため、更に使いやすい環境にしてほしい。

⇒ 平成30年度までに、小中学校各校に10台ずつの配置が終了する予定である。授業等で十分に活用できる状況になると考えている。

参考資料 新潟市教育ビジョン推進委員会平成28年度施策評価経過

No.	開催会議等	開催年月日	協議内容等
1	第32回推進委員会	平成28年 2月9日(火)	・平成28年度主要事業について
2	第34回推進委員会	平成28年 10月31日(月)	・平成28年度施策実施状況について(中間評価)
3	第36回推進委員会	平成29年 5月30日(火)	・平成28年度施策評価について

新潟市教育ビジョン推進委員会（第5期）委員名簿

任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日

(50音順)

No.	氏名	所属
1	石坂 学	鳥屋野中学校長
2	岩田 すみ江	山田小学校長
3	大宮 一真	新潟市小中学校PTA連合会会長
4	高橋 文子	新潟県生涯学習協会事務局長
5	中村 恵子	新潟青陵大学看護学部教授
6	松下 久美子	公募委員
7	宮蘭 衛	新潟大学教育学部教授

新潟市教育ビジョン推進委員会（第6期）委員名簿

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日

(50音順)

No.	氏名	所属
1	小林 利花子	公募委員
2	高橋 恒彦	東新潟中学校長
3	高橋 文子	新潟県生涯学習協会事務局長
4	田中 一昭	新潟市小中学校PTA連合会副会長
5	中村 恵子	新潟青陵大学看護学部教授
6	畠山 典子	関屋小学校長
7	松井 賢二	新潟大学教育学部教授

議案第 21 号

平成 30 年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択について

平成 30 年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択について，議決を求める。

平成 29 年 8 月 28 日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

1 平成30年度使用
新潟市立万代高等学校用教科用図書選定理由

平成30年度新潟市立万代高等学校用教科用図書選定理由1

<第1部>

種目	発行者の		教科書の 記号・	教科書名	需要類型 及び学年	選定理由
	番号	略称				
国語総合	15	三省堂	国総 336	高等学校国語総合 現代文編 改訂版	普通科:1年 英語コース:1年 理数コース:1年	教材が多彩で基礎から発展学習まで効果的に行えるため。
国語総合	15	三省堂	国総 337	高等学校国語総合 古典編 改訂版	普通科:1年 英語コース:1年 理数コース:1年	内容が多彩でかつ誌面が見やすい。特に、漢文の入門の解説がわかりやすいため。
現代文B	143	筑摩	現B 337	精選現代文B 改訂版	普通科:2年 英語コース:2年 理数コース:2年	評論分野に論理的思考力を涵養する教材が使用され、著者の考えが生まれる背景が分かる資料掲載があり、より理解を深められるため。
古典B	2	東書	古B 331	精選古典B 古文編	普通科:2年 英語コース:2年 理数コース:2年	教材数が多く、人物・話題等の関連が取れていて、「語句と表現」によって言語理解の深化も図れるため。
古典B	2	東書	古B 332	精選古典B 漢文編	普通科:2年 英語コース:2年 理数コース:2年	相互に関連する題材が多く、「語句と表現」によって言語理解の深化も図れるため。
世界史A	46	帝国	世A 314	明解 世界史A	普通科:1年 英語コース:1年 理数コース:1年	写真・地図が多く、特に地図が工夫されている。
世界史B	81	山川	世B 310	詳説世界史 改訂版	普通科:3年 英語コース:3年	最新の研究成果が導入されている上、歴史的事項が細かく整理され、流れもとらえ易い
日本史B	81	山川	日B 309	詳説日本史 改訂版	普通科:2年 英語コース:2年	最新の研究成果が導入されている上、歴史的事項が細かく整理され、流れもとらえ易い
地理A	46	帝国	地A 308	高等学校 新地理A	普通科:2年 理数コース:2年	旅行感覚の切り口の導入部分により、生徒が理解しやすく、内容が安定しているため。
地理B	46	帝国	地B 304	新詳地理B	普通科:3年 理数コース:3年	地図が見やすい。
地図	46	帝国	地図 310	新詳高等地図	普通科:2年 理数コース:2年	地図が見やすく、活用しやすい。
現代社会	7	実教	現社 314	高校現代社会 新訂版	普通科:2年 理数コース:2年	最新の事例も写真・統計等を使用し掲載されているため。

平成30年度新潟市立万代高等学校用教科用図書選定理由2

<第1部>

種目	発行者の		教科書の 記号・	教科書名	需要類型 及び学年	選定理由
	番号	略称				
倫理	35	清水	倫理 308	高等学校 新倫理 新訂版	普通科:3年 英語コース:3年 理数コース:3年	「人間とは何か」「いかに生きるべきか」といった倫理の課題を各単元ごとにわかりやすくまとめてあり、構成のバランスが非常によいため。
政治・経済	2	東書	政経 311	政治・経済	普通科:2年 英語コース:2年 理数コース:3年	写真・図説が見やすく、最新の事例も多く掲載されているため。
理数数学 I (数学I)	104	数研	数I 327	改訂版 数学I	理数コース:1年	重要問題が充実しており、授業が進めやすい。問題数も多い。
数学I	104	数研	数I 328	改訂版 高等学校 数学I	普通科:1年 英語コース:1年	問題数が多く、基礎基本が身に付くため。
理数数学 I (数学II)	104	数研	数II 327	改訂版 数学II	理数コース:1年	重要問題が充実しており、授業が進めやすい。問題数も多い。
数学II	104	数研	数II 328	改訂版 高等学校 数学II	普通科:2年 英語コース:2年	問題数が多く、基礎基本が身に付くため。
数学III 理数数学 II	104	数研	数III 308	数学III	理数コース:2年 普通科:3年	重要問題が充実しており、授業が進めやすい。問題数も多い。
理数数学 I (数学A)	104	数研	数A 327	改訂版 数学A	理数コース:1年	重要問題が充実しており、授業が進めやすい。問題数も多い。
数学A	104	数研	数A 328	改訂版 高等学校 数学A	普通科:1年 英語コース:1年	問題数が多く、基礎基本が身に付くため。
理数数学 I (数学B)	104	数研	数B 325	改訂版 数学B	理数コース:1年	重要問題が充実しており、授業が進めやすい。問題数も多い。
数学B	104	数研	数B 326	改訂版 高等学校 数学B	普通科:2年 英語コース:2年	問題数が多く、基礎基本が身に付くため。
物理基礎 理数物理	104	数研	物基 318	改訂版 物理基礎	理数コース:2年	図がわかりやすく、また演習に取り組みやすい

平成30年度新潟市立万代高等学校用教科用図書選定理由3

<第1部>

種目	発行者の		教科書の 記号・	教科書名	需要類型 及び学年	選定理由
	番号	略称				
物理基礎	104	数研	物基 319	改訂版 新編 物理 基礎	普通科:1年 英語コース:1年	図がわかりやすく、また演習に取り 組みやすい
物理 理数物理	104	数研	物理 313	改訂版 物理	普通科:2年 理数コース:2年	図がわかりやすく、また演習に取り 組みやすい
化学基礎 理数化学	183	第一	化基 321	高等学校 改訂 化 学基礎	普通科:1年 理数コース:1年 英語コース:2年	説明がわかりやすく、図のカラーも 目に優しい。指導用教科書が充実 しており、他科目専門の教員も指 導し易い。
化学	104	数研	化学 313	改訂版 化学	普通科:2年	英語での解説、用語などが豊富に 盛り込まれており、最先端の内容も 充実している。
化学 理数化学	183	第一	化学 315	高等学校 改訂 化 学	理数コース:1年	説明がわかりやすく、図のカラーも 目に優しい。指導用教科書が充実 している。
生物基礎 理数生物	2	東書	生基 311	改訂 生物基礎	普通科:2年 英語コース:2年 理数コース:2年	「生物」の教科書との連携が良い。 参考となる図が多く教科書に集中 できる。
生物 理数生物	2	東書	生物 306	改訂 生物	理数コース:2年	図が多くわかりやすい 生物基礎の教科書との連携が良 い。重要項目に参考となる関連 ページの表記がある。
生物	104	数研	生物 310	改訂版 生物	普通科:3年	図・解答がわかりやすい。「生物基 礎」との連携が良い。
保健体育	50	大修館	保体 304	現代高等保健体育改 訂版	普通科:1年 英語コース:1年 理数コース:1年	図やイラストを多く使用し、見開き2 ページで完結する内容となってい るため、生徒が理解しやすい教科 書であると判断したため。
音楽Ⅰ	27	教芸	音Ⅰ 310	MOUSA1	普通科:1年 英語コース:1年 理数コース:1年	生徒に興味関心を抱かせる教材 が、幅広く盛り込まれている。
音楽Ⅱ	27	教芸	音Ⅱ 310	MOUSA2	普通科:3年	音楽Ⅰとの繋がりが持ちやすく、教 材力のある楽曲が盛り込まれてい る。
音楽Ⅲ	27	教芸	音Ⅲ 302	Joy of Music	普通科:3年	幅広い分野が収録され、能力や興 味関心に基づき表現を深めるのに 最適である。

平成30年度新潟市立万代高等学校用教科用図書選定理由4

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記号・	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
美術Ⅰ	38	光村	美Ⅰ 304	美術1	普通科:1年 英語コース:1年 理数コース:1年	分野別に整理され、幅広く内容が盛り込まれている。
美術Ⅱ	38	光村	美Ⅱ 303	美術2	普通科:3年	1からステップアップし、1と2を合わせて充実した資料がそろっている。
美術Ⅲ	38	光村	美Ⅲ 301	美術3	普通科:3年	表現や鑑賞をより深め、生涯を通して美術にかかわっていくことのできる内容である。
書道Ⅰ	6	教図	書Ⅰ 306	書Ⅰ	普通科:1年 英語コース:1年 理数コース:1年	図版が大きく、生徒が手本として観るのに適している。課題として選択している文字も良い。
コミュニケーション英語Ⅰ 総合英語	15	三省堂	コⅠ 333	CROWN English Communication I New Edition	普通科:1年 英語コース:1年 理数コース:1年	内容が多様かつ生徒の興味関心を引く構成となっており、英語学習に必要な活動が実践しやすい。
コミュニケーション英語Ⅱ 英語理解	15	三省堂	コⅡ 331	CROWN English Communication II New Edition	普通科:2年 英語コース:2年 理数コース:2年	1年次コミュニケーション英語Ⅰからの継続
コミュニケーション英語Ⅲ 英語理解	61	啓林館	コⅢ 313	LANDMARK English Communication III	普通科:3年 英語コース:3年 理数コース:3年	入試問題や英語検定試験に対応した構成であり、本文内容に関連した話題について生徒間の活動を行うことができる。
英語表現Ⅰ 総合英語	231	いいずな	英Ⅰ 340	be English Expression I Standard	普通科:1年 英語コース:1年 理数コース:1年	多彩なテーマに沿って、文法と表現活動を合わせて指導しやすい。
英語表現Ⅱ 英語表現	104	数研	英Ⅱ 326	Revised BIG DIPPER English Expression II	普通科:2年 英語コース:2年 理数コース:2年	各単元ごとのCan doリストの表記により、生徒と教員との間でより目標が明確になる。表現活動と文法学習が総合的に学べる。
英語会話	61	啓林館	英会 303	Sailing English Conversation	普通科:3年	基本的な表現を学習しながら、様々な場面でのコミュニケーション活動が可能である。
家庭基礎	6	教図	家基 312	新 家庭基礎 今を学び 未来を描き 暮らしをつくる	普通科:1年 英語コース:1年 理数コース:1年	人の生活をトータルで見つめ、図表や写真が見やすく、わかりやすくまとめられている。
社会と情報	104	数研	社情 315	社会と情報 Next	普通科:1年 英語コース:1年 理数コース:1年	社会人として必要な情報モラルが初めに学習でき、デジタル情報・情報通信ネットワーク・問題解決の構築等段階的に、基礎的な知識がバランスよく学習できる。視覚的にも見やすく、効率よく学習に取り組むことができるため。

平成30年度新潟市立万代高等学校用教科用図書選定理由5

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記号・	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
家庭 (専門)	6	教図	家庭 312	フードデザイン cooking&arrangement	普通科:3年	家庭基礎からのつながりがあり、実習内容も適切に選択されている。
情報 (専門)	7	実教	情報 306	情報メディア	普通科:3年	メディアと情報社会の側面から捉えられており、多様な角度からの学習が可能であるため。

2 平成30年度使用 新潟市立明鏡高等学校用教科用図書選定理由

平成30年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書選定理由1

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
国語総合	50	大修館	国総 347	新編国語総合 改訂版	普通科 午前部 (1年次) 夜間部 (1年次)	B5版で現代文編・古典編が1冊にまとまっており、挿絵・写真がカラーで読みやすく、学習のポイントがわかりやすい。生徒が取り組みやすい評論が多く取り入れられている。入門編から本格的な内容に移行しやすい構成になっている。
国語表現	50	大修館	国表 307	国語表現 改訂版	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (2~4年次)	国語総合Iを履修してから発展的に学習できるものである。カラフルで説明もわかりやすく、図や写真も豊富である。また、様々な文章表現や表現技術の例が多数載せられており、参考にしやすい。
現代文A	183	第一	現A 307	高等学校 改訂版 新編現代文A	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (3~4年次)	著名な作品に加え、最近の作家の最新の作品が、バランスよく収録されている。特に小説では、生徒に親しみやすいテーマがあり興味関心を持って取り組める内容になっている。また言語活動の説明や参考資料もよくまとまり扱いやすい。
現代文B	17	教出	現B 327	現代文B	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (2~4年次)	単元ごとにステップアップという名称で関連事項がまとめられており、教材と結びつけた指導がしやすい。著名な作品と最新の作品がバランスよく収録されている。
古典A	109	文英堂	古A 303	説話(古今著聞集・沙石集・十訓抄・竹取物語) 随筆(徒然草・枕草子・方丈記・常山紀談・花月草紙・蘭東事始) 故事・小話 漢詩 史話	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (3~4年次)	高等学校の古典教材としてふさわしく親しみやすいもの、古文に対する興味・関心を育み持続させうるもの、当代の世態・人情に迫ることのできるものを選んで構成されている。各ジャンルのバランス、難易度も適当である。
古典B	2	東書	古B 329	新編古典B	普通科 午前部 (2~4年次)	古典としての古文と漢文を読む能力を基礎から発展へと充実させるために適した教材が、さまざまな時代・ジャンルからバランスよく採録されている。生徒の興味を喚起し、教材の理解を促す点から効果的な資料性の高いカラー写真・図版が、教材中や単元扉に適切に掲載されている。
世界史A	35	清水	世A 313	高等学校 世界史A 新訂版	普通科 午前部 (2~4年次)	生徒が世界史学習に興味・関心を持ち、世界史の基本的な知識や技能を習得できるよう、必要かつ十分と思われる事項を平易な文章で丁寧に記述してある。学習の要点や課題を疑問文の形で示し、理解を助ける工夫をしている。写真などの図版を豊富に掲載し、それらを読み取りながら考察を深めることができるよう、解説文なども工夫し、生徒の多様な関心・個性に対応している。
世界史A	46	帝国	世A 314	明解 世界史A	普通科 夜間部 (2年次)	平易な文章に加え、地図・写真が充実している。また、人物・物・食などの特集が生まれ生徒の興味関心を引く題材が豊富である。
世界史B	7	実教	世B 309	世界史B 新訂版	普通科 午前部 (3~4年次)	図・写真が多く、生徒がイメージ豊かに学習できる。世界史Aで学習した内容を発展的に学習できる。

平成30年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書選定理由2

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
日本史 A	35	清水	日 A 310	高等学校 日本史 A 最新版	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (3~4 年次)	記述がコンパクトで、歴史の見方、考え方を身につけさせやすい。写真・グラフなどが豊富であり、最新の研究成果や多様な視点が採り入れられている。
日本史 B	35	清水	日 B 313	高等学校 日本史 B 新訂版	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	各節は2~4ページで1つのテーマとなっている。各テーマに疑問文で学習目標が提示されており、学習しやすい。写真・グラフなどが豊富であり、最新の研究成果や多様な視点が採り入れられている。
地理 A	130	二宮	地 A 309	基本地理 A	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (1年 次)	豊富な写真や取り上げているテーマ・トピックスが新鮮で、地理を基礎から楽しく学べ高校生の学習意欲を喚起させやすく、1年を通して地理を学習するにあたり適切な分量である。
地理 B	130	二宮	地 B 305	新編 詳解地理 B 改訂版	普通科 午前部 (3~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	写真・図表・コラムなど、資料が充実しており、紙面はワイドで見やすい。系統・地誌とも基本的な知識を体系的に整理しつつ、全分野・全地域を取り上げて地誌を充実させている。環境の多様性や最新の国際情勢を具体的な資料から、生徒にとって視覚的にもわかりやすい。
地図	130	二宮	地図 312	基本地図帳 改訂版	普通科 夜間部 (1年 次)	大きな図版でみやすく、図などもわかりやすい。地図帳を身近に感じることができる工夫があり、生徒が学習に取り組みやすい。
地図	130	二宮	地図 314	高等地図帳 改訂版	普通科 午前部 (1年 次)	一般図が豊富な地図帳で、広範囲を見渡せる地図から、要所を拡大して見る地図まで、さまざまなスケールでの地図学習ができる。世界の一般図がより見やすく、授業で一般図を多く使う生徒がわかりやすく読み取れる。
現代社会	7	実教	現社 315	最新現代社会 新訂版	普通科 午前部 (3年 次) 夜間部 (3年 次)	図・写真が多く生徒が理解しやすい。身近な例や時事問題が多く、生徒の学習意欲を喚起する工夫がある。特に現代社会の諸相についてわかりやすく解説されている。

平成30年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書選定理由3

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
倫理	35	清水	倫理 308	高等学校 新倫理 新訂版	普通科 午前部 (1～4 年次)	生徒が東西の先哲の思考や生き方を学ぶことができるように、先哲の思想が育まれた背景、風土や時代について丁寧に記述している。現代の倫理的課題について、生徒が主体的に思考していく姿勢を培うように工夫している。本文記述と関連の深い写真、主要な思想家のコラム、原典資料、表などを豊富に掲載して理解しやすい。
倫理	35	清水	倫理 313	高等学校 現代倫理 新訂版	普通科 夜間部 (3～4 年次)	抽象概念や形式的思考操作についての記述が立体的で理解しやすく、用語解説に終始しない工夫が充実し、生徒を触発へと導く配慮がなされている。
政治・経済	7	実教	政経 313	最新政治・経済 新訂版	普通科 午前部 (1～4 年次) 夜間部 (3～4 年次)	図・写真が多く生徒に分かりやすい。身近な例や時事問題が多く、授業が導入しやすい。特に経済理論がわかりやすく解説されている。
数学Ⅰ	2	東書	数Ⅰ 319	改訂 新数学Ⅰ	普通科 午前部 (1年 次) 夜間部 (1年 次)	B5版で説明箇所にカラーを多く使い、ポイントとなる点もわかりやすい。P.62の平行移動の説明では、色を使うことで視覚から取り入れやすいものになっている。教科書の最初に小・中学校の復習を取り入れているので、生徒もスムーズに高校の授業に取り組みできるようになっている。
数学Ⅱ	2	東書	数Ⅱ 319	改訂 新数学Ⅱ	普通科 午前部 (2～4 年次) 夜間部 (2～4 年次)	B5判で文字が大きく、カラフルで見やすい。各セクションの冒頭にはねらいが書かれており、また、覚えなくてはならない事項が目立つようにまとめられている。具体的な数値を使った説明が多く取り入れられており、理解しやすい構成となっている。
数学Ⅲ	7	実教	数Ⅲ 314	高校数学Ⅲ	普通科 午前部 (3～4 年次)	復習しながら新しい内容へと移行できる形になっている。基本問題から発展問題まで取り組みやすい構成になっている。
数学A	2	東書	数A 319	改訂 新数学A	普通科 午前部 (1～4 年次) 夜間部 (2～4 年次)	B5版で説明の際にカラーを多く使い、ポイントとなる点もわかりやすい。各章の導入に、日常で扱うものを取り入れており、整数の分野でも細かな説明がされているので、初めて学ぶ生徒も取り組みやすい。
数学B	2	東書	数B 318	新数学B	普通科 午前部 (2～4 年次) 夜間部 (3～4 年次)	B5版で文字も大きく、説明もカラーを多く使っていてわかりやすい。例や例題を参考に解く演習問題が多く、理解しやすい構成となっている。
数学活用	7	実教	数活 301	数学活用	普通科 午前部 (2～4 年次) 夜間部 (2～4 年次)	B5判で文字が大きく、カラフルで見やすい。また教科書本文の内容とともに、各節末にある附録が充実しており、数学や考えることのおもしろさに生徒が気づくための工夫が施されている。

平成30年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書選定理由4

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
科学と人間生活	183	第一	科人 309	高等学校 改訂 科学と人間生活	普通科 午前部 (2年次) 夜間部 (2年次)	わかりやすい図が多く、生徒が興味関心を持てる内容がうまくまとめている。現在の科学技術まで発展する過程を示す資料が多く、理解しやすい。
物理基礎	7	実教	物基 314	高校物理基礎 新訂版	普通科 午前部 (1~4年次) 夜間部 (3~4年次)	B5の見開きに図と文章がきれいにまとめられているため、読みやすい。身近な現象と関連付けた分かりやすい図が多く、生徒の理解に役立つ。演習問題の難易度が生徒の実態に即しており、取り組みやすい。
化学基礎	7	実教	化基 317	高校化学基礎 新訂版	普通科 午前部 (1年次) 夜間部 (1年次)	図と文のレイアウトが工夫されているため、読みやすい。また、文章が見開きで完結しているため、単元ごとの理解が容易である。巻末の物質ピックアップなどに身近な物質をわかりやすくまとめてあり、初めて化学を学ぶ生徒にとって見やすくなっている。
化学	2	東書	化学 309	改訂 新編化学	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (2~4年次)	中学校の学習事項から丁寧に展開されており、基礎的・基本的事項の確実な理解や習得につながる。くらしや社会と化学をつなげる工夫がなされており、学習意欲を高めるのに役立つ。
生物基礎	7	実教	生基 314	高校生物基礎 新訂版	普通科 午前部 (1~4年次)	導入から発展までの流れがスムーズで無理がなく、生徒の理解に役立つと考えている。発展的な内容については、本文と明確に分けて記載されているため、個々の生徒に合わせた使い方が可能である。
地学基礎	183	第一	地基 310	高等学校 改訂 地学基礎	普通科 夜間部 (3~4年次)	B5版で、見開きに図と文章がきれいにまとめられているため、読みやすい。導入から発展までの流れがスムーズで無理がなく、生徒の理解に役立つと考えている。
保健体育	50	大修館	保体 304	現代高等保健体育改訂版	普通科 午前部 (1年次) 夜間部 (1年次)	ポイントを絞った理解しやすい内容である。また、図表の説明もわかりやすく、それらを用いた授業展開が可能である。
音楽 I	17	教出	音 I 307	音楽I 改訂版 Tutti	普通科 午前部 (1~4年次) 夜間部 (2~4年次)	歌いやすく良い曲が多いため、生徒が意欲的に学習に取り組める。楽譜が見やすく、色覚特性を踏まえた、読みやすい配色や表示の工夫がされている。
音楽 II	17	教出	音 II 307	音楽II 改訂版 Tutti	普通科 午前部 (2~4年次) 夜間部 (3年次)	曲の構成がわかりやすい等、生徒が理解しやすい曲が多い。また、楽譜が見やすく、学習の手助けとなる巻末資料が豊富である。

平成30年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書選定理由5

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
音楽Ⅲ	17	教出	音Ⅲ 301	音楽Ⅲ	普通科 午前部 (3~4 年次) 夜間部 (4年 次)	音楽Ⅰ・Ⅱと同じ出版社の教科書で継続性を考慮した。楽譜が見やすく、生涯学習にもつながる多様な曲が掲載されている。
美術Ⅰ	116	日文	美Ⅰ 305	高校生の美術Ⅰ	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	図版が大きくて、文章も分かりやすく、生徒が関心を持って学習に取り組める内容になっている。また、映像メディア表現や、環境問題を考慮したデザイン等の現代的な題材、日本美術についても積極的に取り上げられている。
美術Ⅱ	116	日文	美Ⅱ 302	高校美術Ⅱ	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (3年 次)	図版が多く、解説が充実しているため、生徒が興味を持って授業に取り組める。さらに画材を専門的に説明、解説しているなど、生徒にとって理解しやすい。
美術Ⅲ	116	日文	美Ⅲ 302	高校美術Ⅲ	普通科 午前部 (3~4 年次) 夜間部 (4年 次)	図版も多く解説が充実しているため、理解しやすい。作家の紹介等の内容が充実していて、その作家の独自性や表現、制作方法を学ぶことができる。
工芸Ⅰ	116	日文	工Ⅰ 301	工芸Ⅰ	普通科 午前部 (1~4 年次)	図版が大きくて、文章も分かりやすく、生徒が関心を持って学習に取り組める内容になっている。また、多種多様な工芸品を取り上げ、工芸制作における技法を細かく紹介しつつ、それらの工芸品が暮らしの中でどのように活用されているかにいたるまで解説してある。
工芸Ⅱ	116	日文	工Ⅱ 301	工芸Ⅱ	普通科 午前部 (2~4 年次)	図版が多く、解説が充実しているため、理解しやすい。さらに、演習の内容では制作工程を写真等でわかりやすく解説している。
書道Ⅰ	38	光村	書Ⅰ 308	書Ⅰ	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	古典がA4版見開きカラー・原寸大で掲載され、古典の特徴をわかりやすく解説してある。字形や用筆の基礎・基本を理解しやすい形態である。
書道Ⅱ	38	光村	書Ⅱ 308	書Ⅱ	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (3年 次)	鮮明で美しい図版が多数掲載され、個々の古典の解説もわかりやすく生徒が取り組みやすい内容である。また書の変遷についても年表や地図でまとめられており、時代や周辺文化との関わりも理解しやすい。
書道Ⅲ	6	教図	書Ⅲ 302	書Ⅲ	普通科 午前部 (3~4 年次) 夜間部 (4年 次)	書道Ⅰ・Ⅱでも同じ出版社の教科書を使用しているため、継続的な学習が可能である。ことばと書の関係について深く学習するために創作過程が段階的・具体的に示されており、生徒が主体的に取り組める内容である。

平成30年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書選定理由6

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
コミュニケーション英語Ⅰ	2	東書	コⅠ 328	All Aboard! English Communication I	普通科 夜間部 (3~4 年次)	コミュニケーション活動につながる、生徒の興味・関心の高い題材で構成されている。文法が視覚的に提示され、理解しやすい。基礎・基本が系統的に学習できる構成になっており、英語が苦手な生徒にも適している。
コミュニケーション英語Ⅰ	15	三省堂	コⅠ 335	VISTA English Communication I New Edition	普通科 午前部 (1年 次) 夜間部 (1年 次)	B5版で読みやすく、カラー写真が多く使用されているため、生徒に興味関心を持たせ学習意欲を高めることができる。文法の説明が易しくわかりやすい。ポイントとなる点もわかりやすい。
コミュニケーション英語Ⅰ	50	大修館	コⅠ 337	Compass English Communication I Revised	普通科 午前部 (1~4 年次)	生徒の興味・関心を引く身近で楽しい題材で構成されており、様々な話題を通じて、異文化への理解が高められる。中学の復習から段階的に学習でき、英語が苦手な基礎基本の定着を目指す生徒に適している。
コミュニケーション英語Ⅰ	109	文英堂	コⅠ 346	New Edition Grove English Communication I	普通科 午前部 (1~4 年次)	生徒の興味・関心を引く題材で構成されている。文法項目が無理なく段階を追って配列されており、やさしい問題の反復練習で確実に文法事項が身につけやすいため、文法が苦手な生徒に適している。
コミュニケーション英語Ⅰ	177	増進堂	コⅠ 322	NEW STREAM English Communication I	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (4年 次)	生徒の興味・関心を引く題材を取り扱っている。英語が苦手な生徒でも、英語で情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養うことができるような構成となっている。
コミュニケーション英語Ⅱ	15	三省堂	コⅡ 333	VISTA English Communication II New Edition	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	コミュニケーション活動につながる、生徒の興味・関心の高い題材で構成されている。文法が視覚的に提示され、理解しやすい。基礎・基本が系統的に学習できる構成になっており、本校の生徒に適している。1年次必修のコミュニケーション英語Ⅰでも同シリーズの教科書を使用しているため、継続的な学習が可能である。
英語表現Ⅰ	15	三省堂	英Ⅰ 325	SELECT English Expression I New Edition	普通科 午前部 (1~4 年次)	生徒にとって身近な話題を多く扱っている。イラストも効果的に盛り込まれ、英語の文法イメージをつかみながら学習できる。
英語表現Ⅰ	17	教出	英Ⅰ 326	NEW ONE WORLD Expressions I Revised Edition	普通科 夜間部 (4年 次)	生徒の興味・関心を引く題材で構成されており、様々な話題を通じて、英語の表現力が高められる。文法項目は、中学の復習から配列されており、基本文法、基本構文の定着を目指す生徒に適している。
英語表現Ⅱ	183	第一	英Ⅱ 330	Vivid English Expression II NEW EDITION	普通科 午前部 (3~4 年次)	英語による表現力、コミュニケーション能力の定着と向上のため、英語表現Ⅰでの既習事項も復習的に取り上げている。英語で答える問題では、生徒が英語に触れ、積極的に英語を用いる機会が豊富に設定されている。

平成30年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書選定理由7

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
英語会話	2	東書	英会 301	Hello there! English Conversation	普通科 午前部 (1~4 年次)	生徒にとって、興味深く身近な話題を通して、言語や文化について理解を深めることができる内容になっている。
英語会話	15	三省堂	英会 302	SELECT English Conversation	普通科 夜間部 (3~4 年次)	身近な話題を中心に、生徒がよく使う場面での会話表現が選ばれている。基本表現を段階を追って繰り返し学習できる構成になっており、理解しやすい。
家庭総合	6	教図	家総 302	家庭総合 ともに生きる 明日をつくる	普通科 午前部 (1~2 年次) 夜間部 (1年 次)	本文の表現が易しく、わかりやすい図も多いため、内容を理解しやすい。
社会と情報	116	日文	社情 317	新・見てわかる 社会と情報	普通科 午前部 (2年 次) 夜間部 (2年 次)	最新の内容が盛り込まれ、内容もより充実している。1つの用語を具体例やイラストを交えて1ページでわかりやすく解説しており、生徒にとって親しみやすい。
商業	7	実教	商業 315	商品開発	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (3~4 年次)	商品開発に必要な過程をわかりやすく説明している。また、実際の企業の事例が豊富でイメージしやすい。
商業	7	実教	商業 326	ビジネス経済応用	普通科 午前部 (4年 次) 夜間部 (3~4 年次)	各ページに事例やグラフなどの資料が載せてあるため、経済をはじめて学ぶ生徒でもイメージしやすい内容となっている。
商業	7	実教	商業 327	経済活動と法	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (4年 次)	難しい法律を図や具体的事例、わかりやすい解説等で丁寧に説明されており、初めて法律を学ぶ生徒にとって理解しやすい。
商業	7	実教	商業 331	電子商取引	普通科 午前部 (3~4 年次) 夜間部 (3~4 年次)	実習問題で使用されているソフトウェアも本校と同じため使いやすい。また、作業手順も写真等を用いて細かく記載されており、生徒にとってわかりやすい。
商業	7	実教	商業 338	新簿記 新訂版	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	A4版で説明が分かりやすく、また、帳票が大変見やすく、記帳手順が細かく記載されているので、初めて学ぶ生徒にとってわかりやすい。

平成30年度新潟市立明鏡高等学校用教科用図書選定理由8

<第1部>

種目	発行者の		教科書の記	教科書名	需要類型及び学年	選定理由
	番号	略称				
商業	7	実教	商業 345	ビジネス実務 新訂版	普通科 午前部 (1~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	授業で取り扱う「オフィス実務」「ビジネスと珠算」の内容が豊富である。また、実際のビジネスの場面をイメージしやすいようにイラストも充実しており、理解しやすい。
商業	190	東法	商業 344	情報処理 新訂版	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (3~4 年次)	基礎・基本を重視した内容ではあるが、高度な内容も取り扱っており、理解力に応じた幅広い対応が可能である。
家庭 (専門)	7	実教	家庭 311	子どもの発達と保育 新訂版	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (4年 次)	イラストや図が豊富でわかりやすい。写真も多く、オールカラーで理解を深めやすい。
家庭 (専門)	7	実教	家庭 313	フードデザイン 新訂版	普通科 午前部 (2~4 年次) 夜間部 (2~4 年次)	イラスト、写真が大きく載っており生徒の興味を引くレイアウトになっている。特に調理の基本操作はページを多くとっており、理解しやすい。

議案第 22 号

平成 30 年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書について

平成 30 年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択について、議決を求める。

平成 29 年 8 月 28 日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

平成30年度使用

新潟市立高志中等教育学校（後期課程）用

教科用図書選定理由

平成30年度新潟市立高志中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定理由1

<第1部>

種目	発行者の		教科書の 記号・番	教科書名	需要類型及 び学年	選定理由
	番号	略称				
国語総合	183	第一	国総 360	高等学校 改訂版 国語総合	全：1年	現代文では、大学受験に対応できる作品を多く採用している。古典では、基礎的事項から積み上げて学習することができる。
現代文B	183	第一	現B 317	高等学校 現代文B	全：2年	評論文では、大学受験に対応できる、難度の高い作品が多く所収されている。小説では、心情表現豊かな作品や、生命について考えさせる作品が多く、生徒に様々な考えを想定させてくれることが考えられる。以上の点を考え合わせ、本校で使用するのに適した教科書と判断し、選定した。
古典B	183	第一	古B 322	高等学校 古典B 古文編	全：2年	受験の知識として必要な文法事項や文学史が学べる作品が多く所収されている。作品のジャンルも、物語から歌論まで幅広く、生徒に様々な知識や思想を広げさせることが期待できる。また和歌を含む作品も数多く、センター試験の対策も、この教科書で十分にできると判断し、選定した。
古典B	183	第一	古B 323	高等学校 古典B 漢文編	全：2年	受験の知識として必要な句法や重要漢字が学べる作品が多く所収されている。また「史記」や「十八史略」など古代中国の歴史に興味を持ち、面白く読み進められる作品もあることから、生徒の知識欲を刺激することが期待できる。以上の点を考え合わせ、本校で使用するのに適した教科書と判断し、選定した。
世界史A	081	山川	世A 316	世界の歴史 改訂版	全：1年	生徒が見やすいように紙面が工夫され、図版なども充実してわかりやすく、前近代史・近現代史の内容がバランスよく記載され、かつ受験にも対応できる充実した記載内容であり、授業用・自学用としてわかりやすいと同時に世界史Bへの連携もスムーズにできる。
世界史B	081	山川	世B 310	詳説世界史 改訂版	人文：2年	詳しい事項説明があり、歴史学の最新の研究成果も叙述に取り入れられている。授業においても、また家庭での自主学習で生徒が調べて学習することにも最適のものである。難関大学を中心とする大学受験対策にも十分対応できる。
日本史B	081	山川	日B 309	詳説日本史 改訂版	人文・日本史：2年	記述内容が詳細であり、授業はもちろん、自学自習することにも適している。また、図版や映像もカラーで豊富に掲載されていて利用しやすい。また、そのデータを利用するソフトもあり、教材の作成も行いやすい。

平成30年度新潟市立高志中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定理由2

地理B	046	帝国	地B 304	新詳地理B	人文・地理：2年 理工：2年 生物：2年	図版・表・グラフが充実し、わかりやすい内容であると同時に、大学受験にも対応できる記載内容である。地図との対照もよくできるので授業での使用がしやすい。
地図	046	帝国	地図 310	新詳高等地図	人文・地理：2年 理工：2年 生物：2年	大学進学に必要な図表、グラフが多く盛り込まれ、地図も見やすく利用しやすい内容になっている。
現代社会	183	第一	現社 321	高等学校 改訂版 現代社会	全：1年	現代社会と人間としてのあり方生き方に関する記載内容が適切であり、図、資料なども豊富で、わかりやすさへの配慮もなされている。また、学習内容定着のための、ケーススタディ、スキルアップなどの「単元まとめ」も充実しており、生徒が取り組みやすい内容となっている。
倫理	035	清水	倫理 308	高等学校 新倫理 新訂版	人文：2年 理工：3年 理生：3年	思想学習において、歴史的な関連性をもった構成で、思想の背景や時代・風土などと関連させた記述、構成がされており、生徒に理解しやすく、かつ深い思考につながりやすい内容となっている。小論文対策など、さまざまな学習展開も期待できる内容になっている。
政治・経済	183	第一	政経 309	高等学校 改訂版 政治・経済	人文：3年 理工：3年 理生：3年	現代社会の政治・経済の仕組み、国際社会の関係をわかりやすく解説しており、時事的な事項も交えて、生徒に理解しやすく構成している。探究課題を設け、発展的に言語活動の充実が図られるよう工夫されている。
数学I	104	数研	数I 327	改訂版数学I	全：1年	中高一貫校として6年間で全国に通ずる学力を身につけさせるという特性から、難易度も適当であり例題と問いのギャップが少なく、授業の進度を維持しながら習熟度に合わせて問題補充しやすい。
数学II	104	数研	数II 327	改訂版数学II	全：1年	前年度までに学習した数学I Aと比べて、難易度も上がるので例題、応用例題と段階別の問題が分かりやすく分けて記載されており、解説も丁寧である本書が適している。
数学III	104	数研	数III 308	数学III	理工・数III：3年 生物・数III：3年	記述がわかりやすく、数学への興味・関心が広げられるコラム等が掲載されている。段階別の問題が分かりやすく分けて記載されており、解説も丁寧である。
数学A	104	数研	数A 327	改訂版 数学A	全：1年	確率や平面図形は苦手とする生徒にとって、例題や問の問題が分かりやすいものになっており、その説明も図解されているので適している。また、習熟度に合わせて、章末問題等で、補充が可能になっている。

平成30年度新潟市立高志中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定理由3

数学B	104	数研	数B 325	改訂版数学B	全：2年	数列やベクトルの分野では、図や考え方のイメージを視覚化することによって、わかりやすい解説となっている。例、例題、応用例題と段階別の問題が分かりやすく分けて記載されており、解説も丁寧である。
物理基礎	104	数研	物基 319	改訂版 新編 物理基礎	全：1年	教科書に記載された内容が適切であり、わかりやすいように図や表なども丁寧に描かれている。また、学習内容定着のための演習問題も十分である。次年度に向けて基礎・基本を固めるのに適した教科書である。
物理	104	数研	物理 313	改訂版 物理	理工：2年	物理基礎の学習を受け連続した学習を進めていくのに適していると判断した。記載内容が適切であり、丁寧な図説があるなど、わかりやすさへの配慮もなされている。また、学習内容定着のための演習問題も十分である。
化学基礎	104	数研	化基 319	改訂版 化学 基礎	全：1年	教科書に記載された内容が適切であり、学習内容定着のための演習問題も十分である。また本文の内容を深める参考や話題、図表も多く記載されており基礎から発展まで幅広く学習を進めることができる。
化学	104	数研	化学 313	改訂版 化学	理工：2年 生物：2年	化学基礎の学習を受け連続した学習を進めていくのに適していると判断した。また、学んだ知識を総括的に演習するための問題も充実しており、受験にも対応できる。
生物基礎	002	東書	生基 311	改訂生物基礎	全：1年	中学校との接続を意識した簡潔な本文記述で、生徒が読みやすく、図の質も高い。また、発展的内容も適切に扱われており、中高一貫校として、質と量の調和のとれた学習指導を行うのに適している。
生物	002	東書	生物 306	改訂 生物	生物：2年	4単位という標準単位数に対して、教科書に記載された内容が適切である。また、探究や発展的内容も十分に配置されており、生物科学コースの生徒が学ぶのに適している。
保健体育	050	大修館	保体 304	現代高等保健 体育 改訂版	全：1年	統計的資料や図などが豊富に取り入れられており、解説も詳しく付けられている。また、本文で取り扱っている内容は他の教科書と比べて難しく、細かい内容を取り扱い、学習内容が多い。保健に対して興味・関心をもち、自ら調べたり深く内容を追求したりして学習を進めるのに適している。

平成30年度新潟市立高志中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定理由4

音楽 I	027	教芸	音 I 310	MOUSA 1	全：1年	新しい曲が豊富に取り入れられており生徒の興味を引く幅広いジャンルの曲が多く盛り込まれている。楽曲内容も細かい解説が記載されており、自ら演奏方法を調べたりしながら学習を進めることができる。
美術 I	116	日文	美 I 305	高校生の美術 I	全：1年	豊富な題材構成、実物の大きさを意識した作品資料、充実の技法資料がある。生徒の興味を喚起し、作品制作中のつまづきを自力で解決することができる。自ら課題を見つけ主体的に解決していく学習を進めるのに適している。
書道 I	006	教図	書 I 306	書 I	全：1年	授業で自ら課題を見つけ、主体的に解決していく学習を進めるための手本として使いやすい。この教科書は文字のサイズが拡大されていることや教科書のサイズが机に置きやすいように工夫されていることから、手本を有効活用して練習するのに適している。
コミュニケーション英語 I	212	桐原	コ I 355	PRO-VISION English Communication I New Edition	全：1年	生徒が関心を持てるような題材が多く採り上げられており、4技能をバランスよく身につけるための構成が成されている。
コミュニケーション英語 II	104	数研	コ II 340	Revised POLESTAR English Communication II	全：2年	生徒が関心を持てるような題材が多く採り上げられており、難易度も適当である。
コミュニケーション英語 III	061	啓林館	コ III 311	ELEMENT English Communication III	全：3年	生徒の興味・関心をかきたてるような題材であふれている。また4技能を統合したさまざまな言語活動ができるように工夫されている。
英語表現 I	015	三省堂	英 I 323	CROWN English Expression I New Edition	全：1年	「文法」の基礎から発展までを体系的に学習しながら「書く」表現力と「話す」表現力を身につけられる工夫が成されている。
英語表現 II	231	いいずな	英 II 332	be English Expression II	全：2年	問題が内容・量ともに適当であり、見やすい構成で生徒の理解の助ける工夫がなされている。インプット、アウトプットの活動量やバランスも良い。
家庭基礎	006	教図	家基 313	高等学校 家庭基礎 グローバル&サステナビリティ	全：2年	新しい資料が豊富に取り入れられ、見やすく、登場人物と同じ視点で課題の発見と解決に向けた主体的、協働的な学習が行いやすい。「グローバル」「サステナビリティ」というコラムが各所に掲載されており、広い視野をもち、多様な価値観の中から自分の価値を見つけられるよう工夫されている。
社会と情報	007	実教	社情 311	最新社会と情報 新訂版	全：1年	例題や事例が豊富であり、論理的な思考や客観的な視点を身につけるための教材の工夫がある。情報倫理や統計処理などを扱っており、他教科との連携を図りやすい。

報 告

平成29年度 新潟市奨学生等の選考結果について

学 務 課

1 奨学生（候補者）の選考

新潟市奨学金条例施行規則第4条及び新潟市社会人奨学金条例施行規則第4条に基づき、下記により奨学生（候補者）の選考を行うため選考委員会を開催した。

(1) 開催日 平成29年8月4日（金）

(2) 選考内容 新潟市奨学生及び新潟市社会人奨学生選考基準に基づき基準適合の可否等選考方針について説明し、選考委員より意見を聴取した。

2 選考結果

(1) 新潟市奨学金

	高等学校	専門学校	短期大学	大学	大学院	合計
募集人数	5	17	5	80	10	117
申請数	0	13	9	111	3	136
基準適合外	0	1	0	5	0	6
候補者数	0	12	9	106	3	130

《貸付額》 高等学校 : 年額20万円
 専門学校・短期大学・大学・大学院 : 年額40万円

(2) 社会人奨学金

	専門学校	短期大学	大学	大学院	合計
募集人数	9				9
申請数	1	0	1	0	2
基準適合外	0	0	0	0	0
候補者数	1	0	1	0	2

《貸付額》 年額20万円、30万円、40万円から申請時に選択
 （今年度は、20万円、40万円をそれぞれ1人が選択）

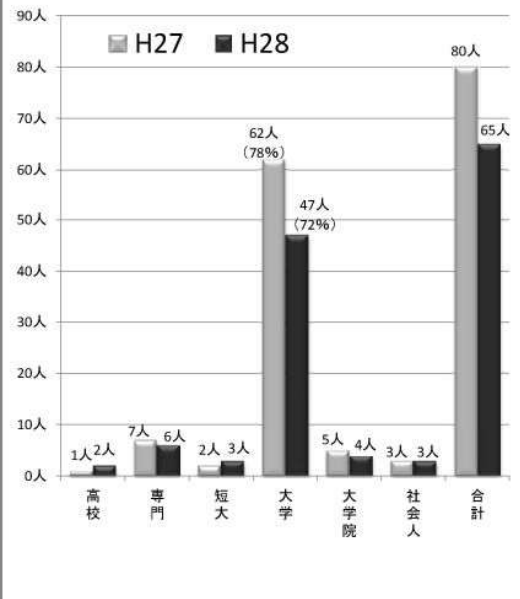
参考

年度別採用状況

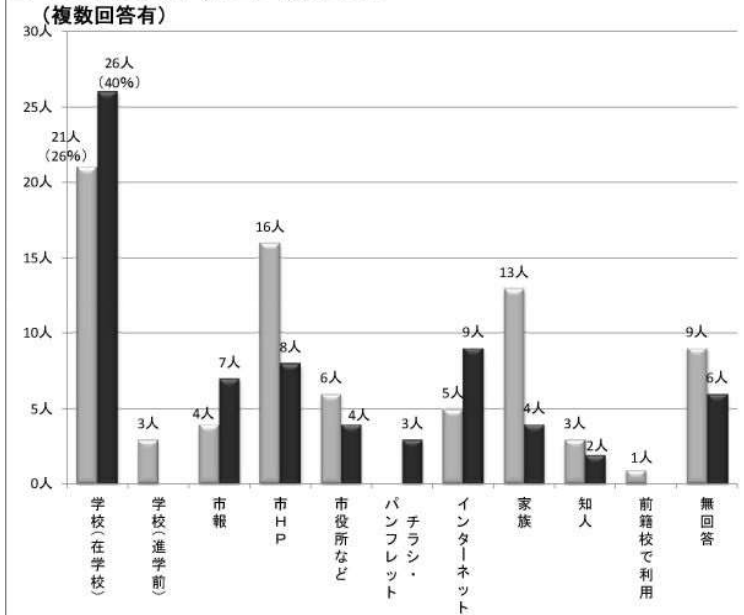
年度	高校		専門学校		短大		大学		大学院		合計		社会人	
	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数
H27	8	0	17	11	5	3	80	68	10	4	120	86	10	2
H28	8	0	17	9	5	6	80	74	10	4	120	93	10	7
H29	5	0	17	12	5	9	80	106	10	3	117	130	9	2

平成28年度貸付終了者からのアンケート結果(78人中65人から回答)

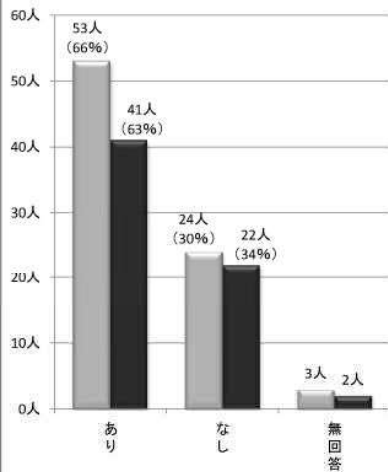
1. アンケート回答者の貸付種別



2. この制度を何(どこ)で知ったか

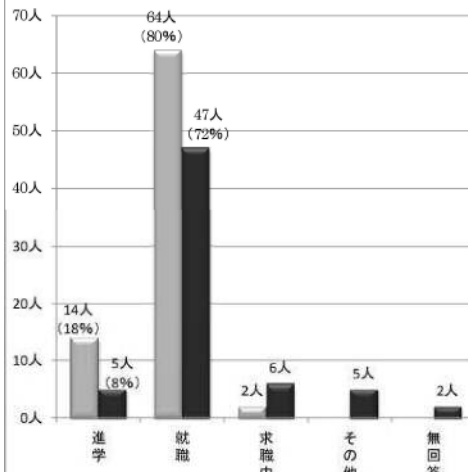


3. 他の奨学金制度の利用



【H29 併用している主な奨学金】(複数回答有)
 ・日本学生支援機構奨学金(33人)
 ・新潟県奨学金(5人)
 ・新潟県看護職員臨時修学資金(1人)
 ・民間法人の奨学金(2人)

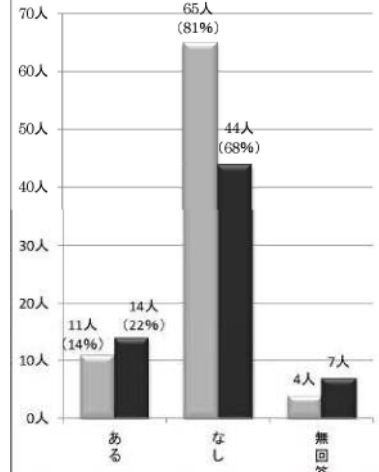
4. 貸付終了後の進路



【H29 就職先の主な業種】
 ・医療・福祉業(9人)
 ・公務員(8人)
 ・教育・学習支援業(5人)

【H29 就職先の主な所在地】
 ・新潟市内(21人)
 ・新潟県内(8人)
 ・関東圏内(9人)

5. 返済にあたっての心配



【H29「ある」とした主な理由】
 ・病気や失業などで収入が減った時の心配(4人)
 ・計画的に返済できるか心配(5人)
 ・求職中(1人)

その他の主な意見(自由記載)

【貸付条件等について】

- ・無利子で助かった。
- ・もう少し額が大きいと有利子の奨学金を減額できるため、卒業後の負担が軽くなりありがたいと思う。
- ・給付型の奨学金であれば、なおありがたい。

【その他】

- ・高校生時代は遅刻や欠席が目立ち、採用されるか不安でしたが、奨学金を借りることが出来、4年間で様々な学問を学び、また、学外活動を行い、充実して卒業することが出来ました。ありがとうございました。
- ・お陰様で大学を無事卒業することができました。ありがとうございました。

協 議 会

通学区域変更に関する要望書について

教育総務課教育政策室

1 要望書提出年月日

平成 29 年 6 月 20 日

2 要望書提出者

- ・ 親松自治会 （中央区、993 世帯（H29.6.30 現在の住民基本台帳より））

3 要望の趣旨

- ・ 親松自治会は 2 つの小校区に分断されており、円滑な自治活動に不都合が生じているため、「親松 1201 番地より 1207 番地」を曾野木小校区から鳥屋野小校区へ変更することで、自治会の通学区域を鳥屋野小校区に一本化すること。
- ・ 通学区域の変更実施期日は、平成 30 年 4 月 1 日とすること。
- ・ 現在上記の地域から曾野木小学校へ就学している児童については、通学区域変更後も卒業するまで曾野木小学校へ就学できること。またその弟や妹についても、曾野木小学校へ就学できること。

4 児童・生徒数、学級数将来推計

別紙に記載のとおり

5 関係するコミュニティ協議会、自治会・町内会

- ・ コミュニティ協議会：曾野木地区コミュニティ協議会
鳥屋野校区コミュニティ協議会
- ・ 自治会・町内会：高美町中央自治会
高美町自治会
上沼自治会

以上、通学区域変更に同意済

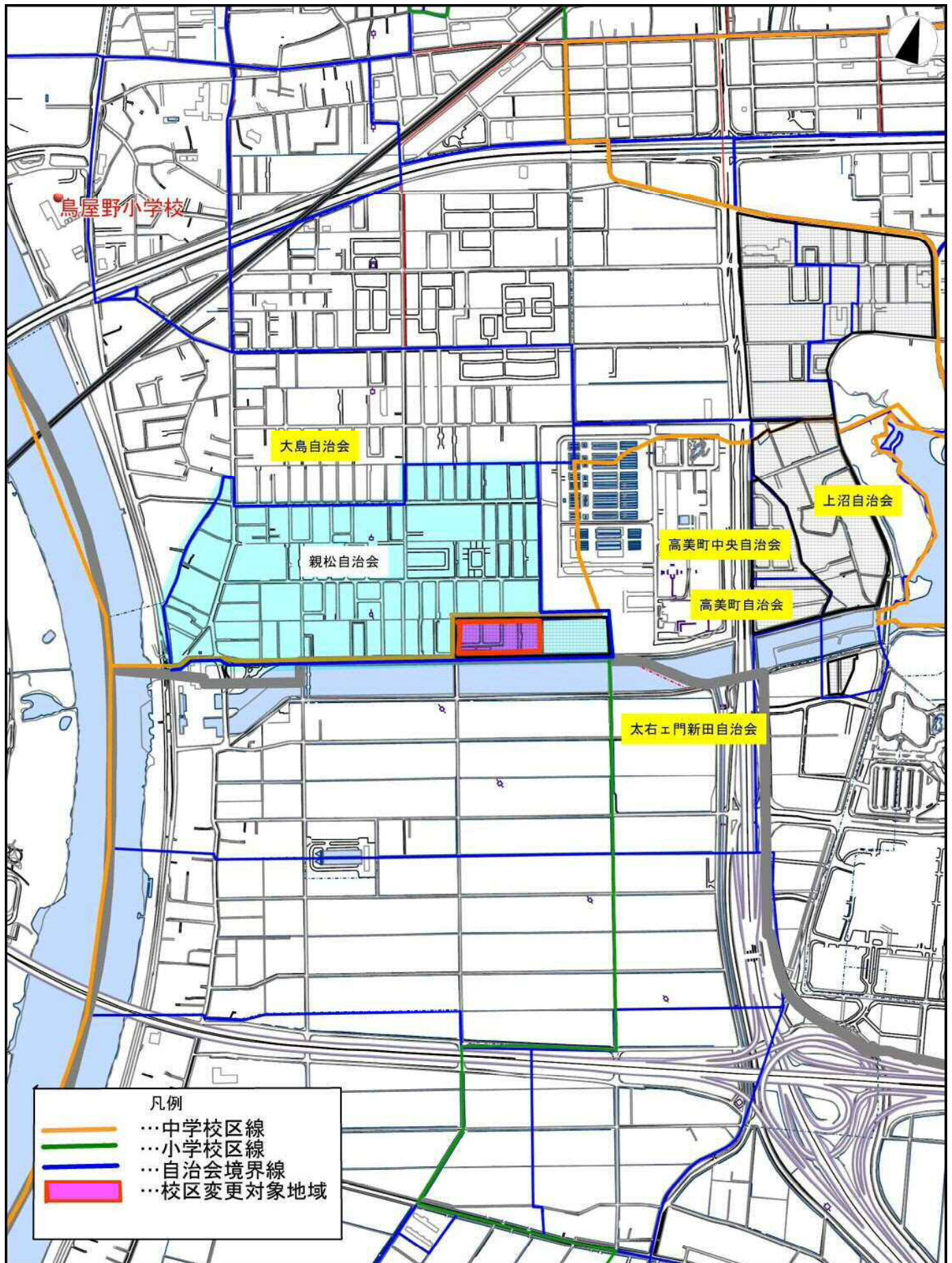
H29 年度 鳥屋野小学校、曾野木小学校 児童数・学級数推計

校名	学年	実数値		推計値											
		平成29年度		30		31		32		33		34		35	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
鳥屋野	1	166	6	208	7	190	6	177	6	219	7	240	8	203	7
	2	167	6	166	6	208	7	190	6	177	6	219	7	240	8
	3	145	5	167	6	166	6	208	7	190	6	177	6	219	7
	4	153	5	145	5	167	6	166	6	208	7	190	6	177	6
	5	136	4	153	5	145	5	167	5	166	5	208	6	190	6
	6	131	4	136	4	153	5	145	5	167	5	166	5	208	6
	計	898	30	975	33	1029	35	1053	35	1127	36	1200	38	1237	40
曾野木	1	68	3	52	2	62	2	53	2	56	2	57	2	58	2
	2	50	2	68	3	52	2	62	2	53	2	56	2	57	2
	3	58	2	50	2	68	2	52	2	62	2	53	2	56	2
	4	55	2	58	2	50	2	68	2	52	2	62	2	53	2
	5	39	2	55	2	58	2	50	2	68	2	52	2	62	2
	6	61	2	39	1	55	2	58	2	50	2	68	2	52	2
	計	331	13	322	12	345	12	343	12	341	12	348	12	338	12

H29 年度「親松 1201 番地から 1207 番地まで」児童数、乳幼児数

6年	5年	4年	3年	2年	1年	児童数計	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	乳幼児数計
1	1	1	0	2	3	8	2	6	2	5	6	6	27

※曾野木小学校区内の「親松」地区の乳幼児は、児童数・学級数の推計にあたっては、これまでの学区外就学の状況から、曾野木小学校から除き、鳥屋野小学校区に含めているため、H30 年度から校区を変更したとしても推計値は変わらない。



1/10000



平成29年 6月20日

新潟市教育委員会

教育長 前田秀子様

新潟市中央区 親松自治会

会長 有坂 康治



通学区域変更のお願い

私達、新潟市中央区親松自治会に於いては、従来から通学区が鳥屋野小学校区と曾野木小学校区に指定されている区域の2学校区が混在しており、自治会が二つの学校区に分断されておる状況にあります。

現在、親松自治会は鳥屋野小学校区コミュニティ協議会に所属しています。

この様な状況では、円滑な自治会活動を行って行く上で、何かと不都合な状況が生じており、児童・生徒及びその保護者の日常の活動等に多大な影響を与えております。

尚、学校区が曾野木小学校区に指定されている区域に居住する住民は、地域コミュニティの一体化並びに児童・生徒の学校内外活動の継続性、児童及び高齢者見守り自主防災等などの活動にも影響与えております。安全で安心して暮らせる地域作りの観点から、鳥屋野小学校区への学校区の変更を希望しております。

つきましては、親松自治会住民の総意として、是非とも次のとおり学校区域を変更して下さる様、地図を添えてお願い申し上げます。

- 1 別紙図面に示す 1201 番地から 1207 番地までの区域の学校区を、鳥屋野小学校区に変更して頂きたい。
- 2 学校区域変更期日は、平成 30 年 4 月 1 日として頂きたい。
- 3 通学区域の変更の際は、次の事項にご配慮して下さる様お願い致します。
 - 1、現在曾野木小学校区に通学している児童・生徒は、当該学校を卒業するまで通学できる事。
 - 2、通学区域の変更後も、現に曾野木小学校に在籍通学している児童・生徒の弟・妹については、曾野木小学校に通学出来る事。

以上

地图省略

親松自治会 6 月定例会

平成 29 年 6 月 18 日（日）

会 場 : 親 松 会 館

1 自治会長挨拶

2 定例会成立宣言

3 議長選出

4 議事

第一号議案 親松地区における指定校区線の変更に関する要望書の提出について

第二号議案 掲示板の撤去及び再設置について

第三号議案 備品の購入について

第四号議案 その他意見・要望

親松自治会定例会議事録

平成 29 年 6 月 18 日午前 9 時 00 分、親松会館に於いて平成 29 年 6 月定例会を開催した。

定例会総数 983 世帯、代表として全 9 組組長、親松自治会役員 8 名、合計 17 名全員の出席によって定例会の成立がなされたことの報告が司会の高綱副会長よりあり、議長選出に入り高綱副会長が議長席に就き、議事に入る。

第一号議案

校区変更の件、主旨説明を有坂会長より行い議長は議場に諮ったところ、満場一致をもってこれを承認可決した。

第二号議案

掲示板の撤去及び再設置の件、主旨説明を有坂会長より行い議長は議場に諮ったところ、満場一致をもってこれを承認可決した。

第三号議案

テーブル 5 台発注の件、主旨説明を有坂会長より行い議長は議場に諮ったところ、満場一致をもってこれを承認可決した。

第四号議案

その他の件を議長は議場に対して、要望や意見等有るや、否や諮ったところこれとして意見もなく終了とした。

以上で本日の議事を終了し、議長は午前 10 時 00 分閉会を宣した。

上記の決議を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び会長並びに書記が記名押印する。

平成 29 年 6 月 18 日

議長 副会長

高 綱 龍 治



会 長

有 坂 康 治



書 記

田 中 仁



同意書

新潟市中央区親松自治会内における小学校区について、現行の校区
鳥屋野小学校区、曾野木小学校区の二校区を平成30年4月1日
より鳥屋野小学校区に統一する事に同意します。

平成29年 6月15日

新潟市 中央区

高美町中央 自治会

会長 小池直美 

同意書

新潟市中央区親松自治会内における小学校区について、現行の校区
鳥屋野小学校区、曾野木小学校区の二校区を平成30年4月1日
より鳥屋野小学校区に統一する事に同意します。

平成29年6月16日

新潟市 中央区

高美町 自治会

会長 泉田 雅幸



同意書

新潟市中央区親松自治会内における小学校区について、現行の校区
鳥屋野小学校区、曾野木小学校区の二校区を平成30年4月1日
より鳥屋野小学校区に統一する事に同意します。

平成29年6月16日



新潟市 新潟市中央区 

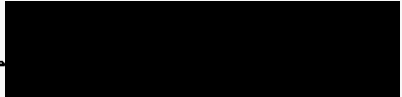
上沼自治会

会長 本間功美雄 

同意書

新潟市中央区親松自治会内における小学校区について、現行の校区
鳥屋野小学校区、曾野木小学校区の二校区を平成30年4月1日
より鳥屋野小学校区に統一することに同意します。

平成29年6月8日

新潟市江南区 

曾野木地区コミュニティ協議会

会長 桜田博治 

同意書

新潟市中央区親松自治会内における小学校区について、現行の校区
鳥屋野小学校区、曾野木小学校区の二校区を平成30年4月1日
より鳥屋野小学校区に統一する事に同意します。

平成29年6月8日

新潟市中央区

鳥屋野校区コミュニティ協議会

会長 阿部洋一 